

令和7年度
事業報告書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会

令和7年度 事業報告

少子高齢化や世帯人員の減少などの社会環境の変化に伴い、地域における人と人とのつながりの希薄化が進行し、地域における福祉課題は複雑化・多様化しております。さらに、令和7年度はいわゆる団塊の世代が、すべて75歳以上の後期高齢者となる年であり、地域における包括的な支援体制の充実が一層求められました。

本会では、第6期地域福祉活動計画（令和3年度～令和8年度）において「つながりで“元気”“安心”なまちの実現」を目標に掲げ、下記の事業を重点的に取り組みました。

1. 「五福の家」による地域共生型福祉拠点事業の実施

遺贈を受けた不動産（南区若久）を活用して、みんなの集いの場である「カフェ五福の家」をはじめとして、自立援助ホーム、福祉等の関係団体のシェアオフィス、地域の防災倉庫などの多様な取組みを行う地域共生型の福祉拠点「五福の家」を開設しました。

世代や属性に関わらず、誰もが気軽に集える居場所となるよう、各種ワークショップや講座・座談会などを開催しました。

2. 平常時の見守りと災害時の避難支援との連動の強化

見守りマップの作成支援等を通じ、日常的な見守り活動を可視化し、災害時の避難誘導等の仕組みとの連動を図る取組みを進めました。また、福岡市からの委託を受け、災害時に地域住民による避難行動要支援者の安否確認・避難誘導が円滑に進むよう、市内20校区で避難行動要支援者の個別避難計画を作成するワークショップの開催を支援しました。

3. 多様な相談機関・専門職等との連携強化

福岡市からの委託を受け、市社協本部に個別支援型のCSW（地域共生推進員）を10名配置し、民生委員・児童委員からの相談を中心に積極的に受け付け、複合多問題ケースへの同行訪問や助言等、延べ4,178件の対応を行いました。

そのほか、地域福祉活動の支援や、権利擁護支援体制について、多くのメディアに本会の実践を取り上げていただき、広く発信することができました。

令和7年度の主な実施事業は、次のとおりです。

【重点項目】	頁
1. 住民主体の小地域福祉活動の推進	1
(1) ふれあいネットワークによる平常時の見守りと災害時の避難支援との連動の強化	
(2) ふれあいサロンをはじめとする居場所づくりの強化	
(3) 「校区福祉のまちづくりプラン」策定の推進	
(4) 小地域での生活支援ボランティア活動の推進	
(5) 多様な主体との連携・協働の推進	
2. ボランティアによる社会参加の拡大	6
(1) ボランティアの参加や裾野の拡充	
(2) 分野を超えた様々な人・団体等と協力した活動や連携モデルの開発	
(3) 新たな社会課題への対応と課題解決力の向上	
(4) 災害時のボランティアや支援活動を円滑に進めるための日頃からの備え	
3. 社会課題解決モデルの開発と拡充	10
(1) 地域子どもプロジェクト（一部福岡市委託事業）	
(2) 買い物支援（一部福岡市委託事業）	
(3) 「終活」支援	
(4) 社会福祉法人等とのさらなる連携・協働	
(5) 「社会的処方」の手法とあり方に係る研究（Fプロジェクト）	
(6) 「ファンドレイジング」を組み込んだ社会課題解決の仕組みづくり	
4. 権利擁護事業の拡充	15
(1) 本人主体の生活を実現するための日常生活自立支援事業の実施	
(2) 成年後見推進センターの機能強化（福岡市委託事業）	
(3) 市民後見人の養成と活躍支援（一部福岡市委託事業）	
(4) 法人後見事業の推進	
(5) 親なき後支援事業の推進	
5. 居住支援の推進と空家・空室の活用	18
(1) 「住まい・まちづくりセンター」の運営	
(2) 「住まいサポートふくおか」による住替え支援の実施（福岡市居住支援協議会事業）	
(3) 居住支援法人事業の実施	
(4) 制度の狭間を埋める分野横断的な役割の実践	
(5) 空家を福祉活用する「社会貢献型空家バンク」	
(6) 「五福の家」による地域共生型福祉拠点事業の実施【新規】	
6. 地域福祉を推進するための基盤づくり	20
(1) 個人情報の保護と活用	
(2) 福祉教育の推進	
(3) 第7期地域福祉活動計画の策定【新規】	
7. 地域福祉ソーシャルワーカー（CSW）の機能強化	21
(1) 困難を抱えた人に寄り添いエンパワメントできる専門性を持つCSWの育成	
(2) 様々な生きづらさや共通の問題を持つ方々が自主的につながり、相互に援助し合うセルフヘルプ（自助）グループへの支援	
(3) 多様な相談機関・専門職等との連携強化	
(4) アウトリーチによる相談支援に対応できるCSWの人材配置	

重点項目

※特に記載がない場合、文中、グラフ・表中の数値は令和8年3月31日現在のもの。

1. 住民主体の小地域福祉活動の推進

(1) ふれあいネットワークによる平常時の見守りと災害時の避難支援との連動の強化

一人暮らしの高齢者など、支援を必要とする人々が地域で孤立せず、安心して暮らすことができるよう、地域住民や関係団体が連携して、日常的な見守りなどの支援体制づくりに取り組む「ふれあいネットワーク活動」の更なる拡充に向け、見守りマップの作成支援等を通じ平常時の見守り活動を可視化し、災害時の避難誘導等の仕組みとの連動を図る取組みを進めました。

また、福岡市地域保健福祉振興基金等を財源として、活動費を助成しました。

〔実施自治会（町内会）率〕 86.4% 〔助成額〕 19,033,366円

〔活動状況〕

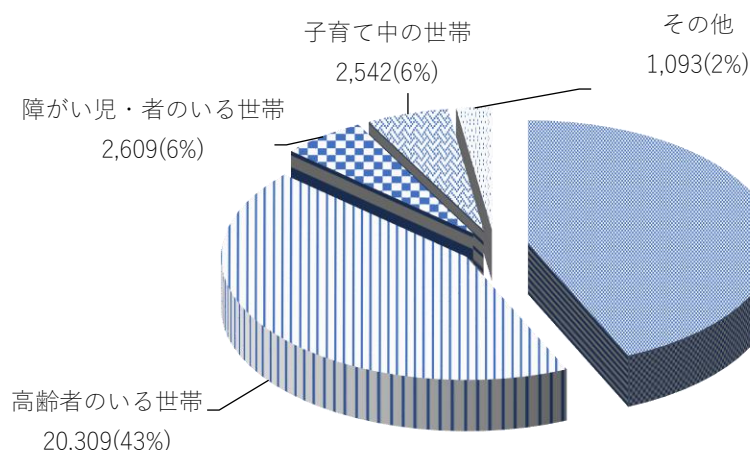
()は前年比の数値

区	校区数※1	助成 校区数	助成 自治会数	対象世帯数	ボランティア数 (人)
東	30	27	380 (2)	8,794 (△830)	2,379 (△114)
博多	22	20	297	6,035 (924)	1,506 (△41)
中央	14	11	301	7,224 (△219)	763 (△45)
南	25	25	303	7,098 (△718)	2,126 (△49)
城南	11	11	146 (△1)	3,352 (213)	1,021 (△46)
早良	24	21	206 (△5)	5,523 (21)	1,731 (△59)
西	25	23	177 (2)	8,932 (567)	1,429 (△81)
合計	151	138	1,810 (△2)	46,958 (△42)	10,955 (△435)

※1 博多区の博多校区、住吉校区、中央区の舞鶴校区は、旧校区数でカウント。

2校区で1つの校区社協を結成している東区の「勝馬・志賀島」、早良区の「内野・曲渕」は各1校区でカウント。

〔活動対象世帯内訳〕



〔活動内容内訳〕

活動内容	世帯数
安否確認・声かけ・話し相手	46,850
ゴミ出し	508

① ふれあいネットワーク研修会の実施

各校区の担当者・役員を対象に、つながり続ける取組みを支援するため、地域の実情に応じた研修会を実施しました。

〔実施状況〕

実施単位	延べ実施回数 (回)	延べ参加者 (人)	主な内容
区	2	49	・見守りマップの作成、更新 ・ふれあいネットワーク活動について など
校区・町内	188	5,810	

② 個別避難計画作成ワークショップ事業の実施（福岡市委託事業）

災害時に地域住民による避難行動要支援者の安否確認・避難誘導が円滑に進むよう、市内20校区で避難行動要支援者の個別避難計画を作成するワークショップの開催を支援しました。

〔実施状況〕

区	校区	開催回数 (回)	延べ参加者数 (人)	個別避難計画 作成数
東 (3)	箱崎	1	50	103
	和白東	2	93	102
	八田	1	33	36
博多 (2)	三筑	1	29	83
	吉塚	2	80	59
中央 (2)	赤坂	3	93	46
	福浜	2	128	79
南 (2)	弥永	2	47	76
	高木	1	24	48
城南 (4)	別府	2	81	68
	堤	2	77	102
	金山	2	54	58
	田島	2	93	60

区	校区	開催回数 (回)	延べ参加者数 (人)	個別避難計画作 成数
早良 (5)	内野	2	55	61
	飯倉中央	2	70	46
	原北	2	52	38
	曲渕	2	5	4
	田隈	2	102	51
西 (2)	姪北	2	74	96
	壱岐南	1	39	49

③ 新規立ち上げ支援事業の実施

年度途中に新規で見守りを開始する自治会・町内会に対し、活動費の助成を行いました。

〔助成状況〕

早良区：1町内 各5,000円

(2) ふれあいサロンをはじめとする居場所づくりの強化

一人暮らしや身体機能の低下等により、家に閉じこもりがちな高齢者等のひきこもりの解消や認知症・介護予防等を目的として、地域のボランティアが公民館や集会所等でレクリエーションや健康体操等の活動を取り入れ、交流・ふれあいの場を広げる「ふれあいサロン活動」の拡充を支援しました。特に、地域の実情に応じたふれあいサロン活動の介護予防機能の強化に向けた働きかけを行い、令和7年度は過去最多となる419箇所に参加しました。

〔助成額〕 21,573,878円

〔活動状況〕

()は前年比の数値

区	校区数 ^{※1}	助成校区数	助成箇所数	延べ実施回数 (回)	延べ利用者数 (人)	延べボランティア数 (人)
東	30	25	83 (5)	1,352 (81)	18,269 (2,319)	8,415 (△277)
博多	22	19	56 (△1)	1,188 (42)	14,570 (65)	5,646 (188)
中央	14	13	30 (3)	404 (37)	4,879 (773)	2,629 (188)
南	25	24 (1)	43 (1)	726 (21)	9,448 (916)	4,846 (15)
城南	11	10	47 (△1)	709 (16)	8,370 (△201)	4,231 (△353)
早良	24	23 (1)	61 (4)	1,256 (86)	15,135 (988)	7,997 (227)
西	25	22	99 (△4)	1,615 (△60)	21,225 (635)	8,456 (△461)
合計	151	136 (2)	419 (7)	7,250 (223)	91,896 (5,495)	42,220 (△473)

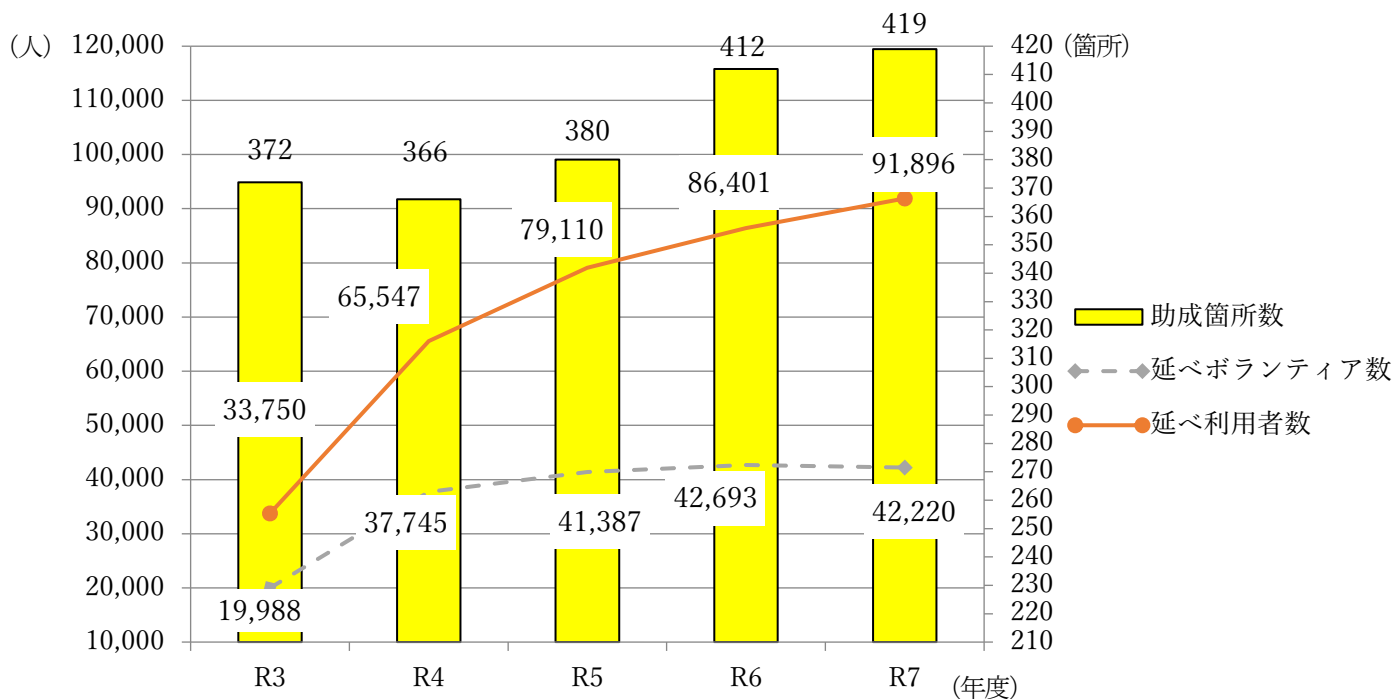
※1 博多区の博多校区、住吉校区、中央区の舞鶴校区は、旧校区数でカウント。

2校区で1つの校区社協を結成している東区の「勝馬・志賀島」、早良区の「内野・曲渕」は各1校区でカウント。

(参考) 1回あたりの平均利用者数：12.7人 (+0.4人)

1回あたりの平均ボランティア数：5.8人 (-0.3人)

〔助成箇所数、延べボランティア数、延べ利用者数の推移〕



① ふれあいサロン研修会の実施

区単位や、校区・町内単位での研修会を実施することにより、地域の実情に応じたサロン活動ができるように研修会を実施しました。

〔実施状況〕

実施単位	延べ実施回数 (回)	延べ参加者 (人)	主な内容
区	11	384	・レクリエーション講習 ・各サロンの活動共有
校区・町内	22	447	・講話 など

② 出前講座協力機関情報の提供

ふれあいサロン等へ、講話やレクリエーションなどの出前講座ができる企業・団体等の冊子を作成・配布し、プログラム策定の支援を行いました。

③ 介護予防機能強化に向けたプログラム指導者等の派遣

ふれあいサロン等における介護予防機能強化を目的として、区社協で養成したボランティアをグループ化し、地域からの依頼に応じて指導者として派遣しました。

区	グループ名	派遣先	派遣回数 (回)
東	お元気届け隊	ふれあいサロン、老人クラブ、RUN 伴等	34
城南	楽しか隊	ふれあいサロン等	10
西	わくわくキッズ	ふれあいサロン等	12

(3) 「校区福祉のまちづくりプラン」策定の推進

地域課題やその解決策を住民が主体的に話し合い、自ら目標を定め今後の活動目標等を共有し、実践につなげる方法として「校区福祉座談会」などを開催しました。また、その内容をより多くの住民で共有するため、新たに「校区福祉のまちづくりプラン」策定を支援するとともに、過去に策定済の校区でプラン内容更新の支援を行いました。（累計68校区でプラン策定）

〔新規策定校区〕

区	校区	プラン名
早良	有住	有住校区福祉のまちづくりプラン
西	姪浜	私たちでつくるまちづくりプラン “安心して楽しい 姪浜校区”
西	周船寺	思いやりと支えあいのまちづくりプラン ～笑顔あふれる住みよいまち周船寺～

〔更新校区〕

区	校区	プラン名
東	箱崎	よかろうがプランⅡ. 2025
博多	板付	板付しあわせ夢プラン
早良	四箇田	TSUMUGU プラン

(4) 小地域での生活支援ボランティア活動の推進

① ご近所お助け隊支援事業

i) 生活支援ボランティアグループの立上げ・運営支援

日常の“ちょっとした困りごと”のお手伝いを、身近な地域で行う「生活支援ボランティアグループ」に対して、情報提供や既存のグループから助言を受ける場のコーディネートなどを支援しました。

〔活動団体数〕 53団体

ii) 生活支援ボランティアグループへの費用助成

「ご近所お助け隊支援事業」として、新規立上げ時の初期費用及び運営体制強化の費用を助成し、生活支援ボランティアグループの活動を支援・促進しました。

〔助成団体数・額〕 7団体・305,500円

区	団体数	立上げ助成数	運営強化助成数
東	2	1	2
博多	1	0	1
中央	2	1	1
南	1	0	1
城南	0	0	0
早良	1	1	1
西	0	0	0
合計	7	3	6

※重複あり

iii) 生活支援ボランティア研修会及び交流会（福岡市委託事業）

生活支援ボランティアグループと、活動を検討している団体を対象に、先進地事例を学ぶ実践発表や、お互いの活動状況や課題等に関する意見交換を行いました。

実施日	内容	参加団体数	参加者（人）
9月12日	・ボランティア団体の実践発表 ・意見交換会	27	42

（5）多様な主体との連携・協働の推進

多様な主体のそれぞれの強み・人材・資源を持ち寄った地域福祉活動の展開へとつなげるため、公民館や福祉施設・事業所、企業、大学、NPO等と地域とのコーディネートに取り組みました。

〔地域と社会資源の協働による取組み〕

- ・福祉施設・事業所、企業、大学等によるふれあいサロンや地域カフェでのプログラム支援（例：健康講座、スマホの使い方相談会、終活・相続相談、メイク・マッサージ提供等）
- ・NPO制服バンク福岡による制服リユースの取組みを支援【東】
- ・専門学校が、子ども食堂、健康イベント、RUN伴等でのプログラム提供の支援【博多】
- ・事業所ネットワークが車と運転手を確保し、校区社協主催の高齢者会食会の会場（公民館）から自宅までの送迎支援を実施【中央】
- ・事業所ネットワークと地域住民協働により、今後地域で取り組みが必要と思われる活動について話し合う座談会を開催【中央】
- ・事業所ネットワークが民生委員・児童委員（以下、「民生委員」という。）を対象とした認知症声かけ訓練を実施【中央】
- ・配達等で高齢者宅を訪問する企業等と連携し、異変を感じた際に地域活動者へ連絡してもらう等、重層的な見守り体制の構築【早良】
- ・校区内の障がい者福祉施設と校区社協で交流会を開催。交流が深まるようにするため、当日施設の販売ブースを設置【早良】
- ・自治協議会や事業所ネットワーク、医療機関等と連携し、住民向けの福祉体験学習や防災訓練を実施【西】
- ・校区（自治協、社協）と福岡100プラザ西、事業所ネットワークが協働し、地域住民が協力して開催する老人いこいの家を活用したeスポーツや健康づくりができる地域カフェの立ち上げと運営【西】

2. ボランティアによる社会参加の拡大

（1）ボランティアの参加や裾野の拡充

① シニア世代の活動支援事業（シニア地域サポーター養成講座）

地域福祉活動の新たな担い手を養成する講座を、市及び区ボランティアセンターで開催し修了者を地域の福祉活動につなぎました。

	内容	受講者（人）	活動開始者（人）
本部	知的障がいや発達障がいのある人を支援するボランティア入門講座	12	1
東	シニア地域サポーター養成講座（レクリエーション講座）	11	3

	内容	受講者 (人)	活動開始者 (人)
博多	“いきがづくり”と“ボランティア”入門講座	3	0
中央	シニア地域サポーター養成講座（e スポーツ体験ボランティア）	13	11
南	シニアボランティア養成講座	10	6
城南	シニアボランティア養成講座	12	4
早良	傾聴ボランティア養成講座	26	1
西	傾聴ボランティア養成講座	32	3
合計		119	29

② 介護支援ボランティア事業（福岡市委託事業）

高齢者（65歳以上）の社会参加、生きがづくりや介護予防を促進するため、ボランティア登録者を介護保険施設等での活動につなぐコーディネートや、活動に必要な知識・スキルを習得するための講座等を実施しました。

i) 登録及び活動の状況（令和7年12月末現在）

〔ボランティア登録等〕

個人登録者（人）	2,162
登録施設	583
令和7年中の活動者（人）	494

〔換金申請〕

換金申請者	人数（人）	金額（円）
奨励金交換者	285	1,042,000
寄付者	106	299,800
合計	391	1,341,800

※活動で付与されるポイントは「奨励金として換金」もしくは「市社協への寄付」を本人が選択・申請。（1日1時間以上の活動＝200ポイント＝200円に換金。換金の上限は5,000円）

〔活動内容〕

（令和7年1月～令和7年12月累計）

活動種別	延べ活動者 (人)	活動種別	延べ活動者 (人)
レクリエーション・囲碁将棋	4,841	食事介助の補助	1,499
芸能	1,932	行事の手伝い	107
話し相手	3,898	入浴介助の補助	419
清掃・衣類整理	879	散歩・屋内移動・送迎の補助	147
美容	68	その他	478
合計			14,268

ii) 説明会、研修、講座の実施

実施日	内容	参加者（人）
7月17日、3月25日	登録説明会	20
4月25日、5月29日、6月28日、7月30日 8月29日、9月20日、10月31日、11月28日 12月23日、1月30日、2月26日、3月25日	新規登録者研修	59
9月25日、10月31日、2月5日、2月12日	スキルアップ講座	92
合計		171

(2) 分野を超えた様々な人・団体等と協力した活動や連携モデルの開発

① 校区フードドライブ事業【中央】

校区社協の協力により、3ヶ月に1度、家庭で余っている食品を集めて、生活困窮者への相談対応時や子ども食堂で活用しました。

〔寄贈受入〕187品

(3) 新たな社会課題への対応と課題解決力の向上

① 認知症介護家族やすらぎ支援事業（福岡市委託事業）

認知症の方を在宅で介護している家庭に訪問し、本人の見守り・話し相手や家族の相談に応じるボランティア（やすらぎ支援員）の派遣及び養成やフォローアップに取り組みました。

〔活動状況〕

実利用世帯数	派遣回数（回）	実活動支援員数（人）
9	237	11

〔やすらぎ支援員の養成やフォローアップに係る研修〕

※やすらぎ支援員の新規登録者数：18人

実施日	内容	参加者（人）
5月23日	第1回やすらぎ支援員フォローアップ研修会	19
8月27日	やすらぎ支援員養成研修	7
11月6日	第2回やすらぎ支援員フォローアップ研修会	8
1月27日	やすらぎ支援員養成研修	17
3月19日	第3回やすらぎ支援員フォローアップ研修会	14
合計		65

(4) 災害時のボランティアや支援活動を円滑に進めるための日頃からの備え

福岡市と協働し、災害支援団体やNPO等との連携体制づくり、災害ボランティアセンター（以下、「災害VC」という。）設置候補地の確保、災害VC設置・運営訓練、啓発活動やボランティアの養成などに取り組みました。

① 災害VC運営の基盤づくり（行政や多様な主体との連携）

i) 「福岡市災害VC運営支援に関する協定」締結

締結日	相手方	内容
12月3日	・特定非営利活動法人福岡災害レジリエンス研究室 ・福岡市	・災害時の多様な主体への情報共有や地域団体と連携した支援ニーズの集約及び調整 ・平常時の研修、訓練、啓発活動における相互協力や災害支援活動に向けた事前協議等の実施

ii) 「福岡市災害V C設置に関する協定」締結

締結日	相手方	内容
3月31日	福岡市、国立大学法人九州大学	災害V C開設時の敷地の無償提供

iii) 災害V C設置・運営訓練（大学、福岡市との共催）

実施日	会場	内容	対象	参加者 (人)
10月7日	学校法人福岡工業大学	・災害V Cの役割・業務 内容の理解 ・現場での業務確認（訓練）及び災害V C体験	行政職員 大学職員 災害支援団体等、 社協職員	75

iv) 災害V C連絡会議

実施日	内容	参加者（人）
12月9日	災害V C運営支援に関する協定を締結している一般社団法人福岡青年会議所、ライオンズクラブ国際協会 337-A地区と社協が平常時から の連携を深めるための情報共有・意見交換	11

v) 災害ボランティア交流会（福岡市との共催）

実施日	内容	参加者（人）
1月15日	行政・社協・団体等の災害時における円滑かつ効率的なボランティア活動のため、平時から災害支援団体、市、市社協、企業、大学等とネットワークを構築するための情報共有・意見交換	35

vi) 災害支援ボランティア団体等の登録制度の運用

〔登録団体数〕13団体

② 令和7年8月豪雨災害（熊本県八代市）における災害ボランティアセンター業務支援

九州社会福祉協議会連合会からの要請に基づき、令和7年8月豪雨災害の被災地である熊本県八代市へ職員を派遣しました。

期間	内容	延べ派遣人員(人)
9月10日～9月14日	現地災害V C業務支援 (ボランティア活動前のオリエンテーション、依頼者との マッチング、依頼者宅の現地調査等)	2

③ 災害ボランティアの裾野を広げる市民啓発や人材育成の取組み

i) 災害ボランティア講座（あすみんとの共催）

実施日	内容	参加者（人）
6月28日	「最後だとわかっていたなら～災害と共にあゆんでいく取り組み～」 講師：岩手日報社 柏山 弦氏、中村 吉孝氏、小野寺 真穂氏	51

3. 社会課題解決モデルの開発と拡充

(1) 地域の子どもプロジェクト（一部福岡市委託事業）

経済的に困窮している子育て中の世帯や、地域との関係が薄く孤立し、生きづらさを抱えている世帯等の課題解決に向け、子どもの居場所づくりの活動支援・基盤強化や子育て家庭等をサポートする団体・専門職等との連携強化に取り組みました。

① 「子ども食堂」等地域における子どもの居場所づくり支援の拡充

地域住民が主体となって実施する子どもやその親が安心して過ごせる居場所づくりや食事提供、多世代との交流をとおして、生活習慣等を子どもが身につけ自立して生きる力を育む取組み、学生ボランティア等と連携した学習支援の取組み等を支援しました。

〔子どもの居場所（区社協が支援した居場所づくり）〕【附属明細書：P.1（別表1）参照】

② 子どもの居場所を多様な主体が支え応援する仕組みづくりの推進

地域や学校、企業、団体、行政等と連携し、食事・食材の提供をとおして子どもを支える地域づくりに取り組みました。

i) 子ども食堂等への食材提供の仕組みづくり

子ども食堂の多くが抱える食材調達の困難さへの支援策として、J A福岡市・J A福岡市東部やベジフルスタジアム活性化委員会への協力を得て、子ども食堂等への食材提供支援事業を実施しました。

また、食材提供支援事業では、食材受取りの申込みや連絡手段にI C Tを導入し、L I N Eのオープンチャット機能を活用することで、やり取りにかかる負担軽減と効率化を図り、子ども食堂等の団体とベジフルスタジアム活性化委員会との情報共有を促す仕組みを整備しました。

提供方法	実施回数	受取団体（延べ）
J A福岡市との協働	183	446
ベジフルスタジアム活性化委員会との協働	46	450

ii) 企業等からの寄贈品のコーディネート

企業等から物品や食料等を提供したいとの相談を受け、市内の子ども食堂との連絡調整窓口となり、計画的に寄贈品を受渡す「企業×子ども ふくふくお届け便」を2か月に1回開催しました。

実施回数	受取団体（延べ）	参加企業数
6	247	17（7※1）

※1 参加企業のうち、新規企業数

iii) 立花寺緑地リフレッシュ農園との協働による子ども食堂等への食材提供支援事業【博多】

立花寺緑地リフレッシュ農園と協働し、受取りを希望する子ども食堂等へ食材（野菜）提供を実施しました。5回実施し、4団体へ食材（野菜）を提供しました。

③ 関係機関・専門職との連携による子ども・子育て世帯のS O Sの早期発見・早期対応

地域の実情に応じた運営を支援するため、団体同士の情報交換やスクールソーシャルワーカー（以下「S S W」という。）との連携強化を目的とした交流・情報交換会を実施したほか、福岡市子どもの食と居場所づくり支援事業補助金の申請等の受付業務を含め団体の新設や運営の支援を行いました。

また、関係機関と情報共有を行いながら、個別ケースの支援にも取り組みました。

〔子どもの居場所づくり団体の交流・情報交換会〕

	実施日	参加団体数 ※1	参加者数 (人) ※1	主な内容
市	10月20日	30	41	講話、情報交換
東	8月25日	28	39	活動報告、情報交換
博多	9月1日	34	51	活動報告、情報交換
	12月2日	29	48	活動報告、情報交換、講話
中央	9月3日☆	44	60	活動報告、情報交換
	12月10日☆	23	33	活動報告、情報交換
南	9月9日☆	43	57	講話、情報交換
	12月17日☆	29	46	活動報告、情報交換
西	11月5日	28	34	講話、情報交換

※1 参加団体数・参加者数には、支援機関の参加も含む

※上記の☆は、「地域資源開拓等業務モデル区でのネットワーク会議」

〔SSWとCSWとの合同研修〕

実施日	内容	参加者(人)
7月30日	【市】①実践発表 ②情報交換	57
12月22日	【東】情報交換	23
12月22日	【博多】情報交換	10
12月8日	【城南】情報交換	11
9月1日	【西】情報交換	20

④ 子育て家庭等を支援する地域資源の把握・開拓と連携促進（福岡市委託事業）

「地域資源開拓等業務」のモデル区である中央区・南区の区子育て支援課と連携し、子育て家庭等の支援ニーズ及び地域や民間等が提供している地域資源の把握を行いました。

〔支援団体・機関等への訪問・照会回数〕

訪問先	訪問回数
団体・機関等	14
地域団体	38
合計	52

（２）買い物支援（一部福岡市委託事業）

① 地域が主体の買い物支援の推進【附属明細書：P.7（別表2）参照】

i) 買い物等支援推進員の配置

市社協本部に買い物等支援推進員を2名配置し、各区社協の生活支援コーディネーター及びCSWと連携して、地域が主体の買い物支援の取組みを進めました。

ii) 「買い物支援ガイドブック」の更新・作成

宅配や移動販売を行う店舗等を一覧にした「買い物支援ガイドブック」の店舗情報の更新を行いました。また、掲載内容の充実や活用促進を図るため、包括支援センターの生活支援コーディネーターから、掲載店舗の情報や活用方法についての現状を把握しました。

iii) 有識者会議の開催

買い物支援実践者や有識者などからなる有識者会議を開催し、現状の取組みに対するアドバイスを受け、取組みの改善やさらなる活動の多様化を図りました。

iv) 地域が主体の買い物先への送迎事業の支援

香住丘校区（東区）が主体となって取り組んでいる買い物先への送迎事業に対し、持続的な取組みとなるよう車両の貸出やボランティアの確保等の支援を行いました。

② ふれあいネットワークやふれあいサロンといった他の地域福祉活動との有機的な連携

地域の会議や企業等との協議の場等で、買い物支援の取組みにより、重層的な見守りや交流、外出の動機づけ、閉じこもり防止、介護予防といった複合的効果が生まれることを発信し、見守りや居場所づくりなどの他の地域福祉活動との連携について働きかけを行いました。

③ ICTによる買い物支援の取組み

買い物先への送迎支援におけるボランティア間での連絡調整にかかる負担を軽減することを目的に、早良校区（早良区）において、LINEオープンチャットの活用に向け、運営ルールの整備やボランティアへの操作方法のレクチャー等の支援を行いました。

④ 協力企業・事業所の開拓

福岡市における買い物困難の課題の共有と買い物支援協力企業の開拓を目的に、企業・団体等（20箇所）の相談対応・訪問を行い、「買い物支援の福岡100PARTNERS」の登録を促しました。（現在38社登録）

また、企業等の買い物支援に対する理解の促進、企業等同士がつながる機会づくり、買い物支援に協力する企業等の拡大などを目的としたセミナーを実施しました。

〔企業向け買い物支援セミナー〕

実施日	内容	参加者（人）
12月23日	・福岡市の買い物支援の取組み ・事例発表「地域をつなぐ買い物支援～企業×福祉の可能性～」 ・グループワーク	30

（3）「終活」支援

① 人生の終末期に向けた準備や自己実現の支援（一部福岡市委託事業）

終活に関する幅広いニーズに応じた情報提供等を行うため、終活全般の相談対応・情報提供窓口を常設したほか、専門性の高い相談については弁護士等による予約制相談窓口を定期開設しました。また、終活に関する啓発や幅広いニーズに応えるため、出前講座を実施するとともに、福岡市からの委託を受け、終活の第一歩を考えるためのセミナーを開催しました。

〔終活サポートセンター 相談実績〕（件）

電話相談	1,012
来所相談 （うち、予約制相談）	288 (120)
訪問等	63
合計	1,363

〔終活応援セミナー〕（福岡市委託事業）

	実施日 (期間)	内容	形式	延べ参加者 (人)
第1回	7月1日 ～3月31日	① まずはここ！備えのポイント ② 「これまで」と「いま」をノートにまとめる ③ 「これから」を考え、ノートで伝える	動画配信	2,255
第2回	11月18日	① 今から始める！自分で決める！わたしの終活 ② 自分にとって大事なことを発見する終活カード ゲーム	対面	84
合計				2,339

〔終活出前講座〕【附属明細書：P.9（別表3）参照】

② 死後事務委任に関する事業

死後事務を頼める親族がいない高齢者等が安心して生活できるよう、本人との契約に基づき葬儀や家財処分等を行う死後事務委任事業を、預託金方式と保険金方式の二種類で実施しました。また、厚生労働省の「持続可能な権利擁護支援モデル事業」に採択され、一部の契約者との連絡手段で見守り・交流アプリ（スグニー）を活用する仕組みを導入し、多様な見守りや安否確認の手法や効果検証を行いました。

i) ゼーっとあんしん安らか事業

事前に預かった預託金で葬儀・家財処分等の死後事務を行うとともに、生前は定期的な見守りや入退院の手伝いなどを行いました。

ii) やすらかパック事業

「ゼーっとあんしん安らか事業」の預託金の一括準備が困難な人等に対応できるよう、少額短期保険を活用した定額の利用料金の月払い制度により、保険金を死亡後の葬儀（直葬）、納骨（永代供養）、家財処分の費用等に充てることで死後事務を実施しました。

〔対応件数〕 (件)

種別	ゼーっとあんしん 安らか事業	やすらかパック事業	合計
相談	282	191	473
新規契約	5	6	11
現契約	76	51	127
解約 (うち、死後事務実施)	10 (7)	8 (5)	18 (12)
定期連絡・臨時対応・関係機関対応 (うち、スグニーでの連絡)	1,343 (12)	1,199※ (71)	2,542 (83)
入退院支援・同行・代行	23	0※	23
死後事務	313	96※	409

※業務委託先の事業者が実施した件数を含む。

(4) 社会福祉法人等とのさらなる連携・協働

① 事業連携の拡充

社会福祉法人等との協働による、買い物支援や移動支援、認知症高齢者等検索サポート体制整備、生活困窮者等への食品提供、居室清掃活動等の地域課題を解決するための取組みなどについて社会福祉法人等に提案し、地域との連携の仕組みづくりを支援しました。

i) 事業所ネットワークの支援

地域の課題解決に向け、福祉・介護・医療・障がい等の専門職や事業所によるネットワークの構築や運営を支援しました。また、CSWを中心に、地域の実情やニーズに応じて事業所ネットワークと地域とのコーディネートに取り組みました。

ア 障がいのある方との交流を深める「ふれあい広場」の開催【東】

障がい福祉サービス事業所を中心に、区内の特別支援学校や高校、企業等との連携・協力による実行委員会方式で各種イベント、出店をイオンモール香椎浜店にて10月4日に行い、交流の場を支援しました。

イ 区役所・福祉事業所等によるフードドライブ【東】

東区役所の協力を得て、使用予定のない食材や生活用品を困窮世帯等は無償で提供する取組みを継続するとともに、食材や生活用品の提供については、ふくおかライフレスキュー参加事業所へも協力を呼びかけました。

ウ 福祉施設による地域貢献サポート事業【南】

施設が地域貢献で行っている事業を一覧にまとめた冊子を、窓口に設置し、区民への情報提供を行いました。

エ 事業所ネットワーク地域連携支援事業【早良】

地域包括ケア推進のため、早良区では事業所ネットワーク・企業・大学等をふれあいネットワーク活動やサロン活動等の地域福祉活動に9件コーディネートしました。

オ 専門スタッフ派遣事業

ふれあいサロンや子育てサロン・サークル、校区社協の福祉講座等に対し、病院スタッフ、理学療法士、保育士、企業の出前講座などの専門スタッフの派遣をコーディネートし、プログラムの充実に向けた支援を行いました。

ii) ふくおかライフレスキュー事業への参画による個別支援機能の強化

社会福祉法人による「地域における公益的な取組み」として、福岡県社会福祉法人経営者協議会と福岡県社協が主管する「ふくおかライフレスキュー事業」に参画しました。

〔支援状況〕

区	参加事業所数	地区連絡会 (回)	支援件数 (件)
東	7	4	1
博多	7	1	1
中央	7	1	6
南	6	1	0
城南	7	1	1
早良	15	2	2
西	17	2	2
合計	66	12	13

② 組織連携の拡充

種別協議会等の業界団体や関係機関等と連携し、福祉・介護の仕事の魅力を発信するプロジェクトに参画しました。プロジェクトの取組みの一つとして、本会と福岡市老人福祉施設協議会の共催で、将来の介護の担い手となる子どもたちに福祉や介護について考えてもらうきっかけをつくることを目的に、介護に便利な「夢の福祉用具」のアイデアを描いた絵を募集する「カイゴ・ミラ이스ケッチコンクール」を企画し、プロジェクトの市民啓発イベントにおいて、作品の展示や表彰式を実施しました。

(5) 「社会的処方」の手法とあり方に係る研究（Fプロジェクト）

孤独・孤立のリスクを抱える人を支えるセーフティネットとなる、ケアリングコミュニティ^(※)の構築に向けて、社会的処方の考え方を地域福祉活動に落とし込み、実践するための手法を研究しました。

また、地域共生型の多機能拠点である「五福の家」において、社会的処方の協働パートナー「医療法人寛恵会 がんクリニック」とともに社会的処方を実践し、その手法と効果について検証を行いました。その一環として、同クリニック理事長による座談会を開催しました。

テーマ	開催日	参加者（人）
心と身体が楽になる！座談会	8月19日	12

(※) ケアリングコミュニティ：福祉サービスを必要とする人を社会的に排除せず、地域社会を構成する一員として包摂し、日常生活圏域の中で支えていく機能を有しているコミュニティ。

(6) 「ファンドレイジング」を組み込んだ社会課題解決の仕組みづくり

地域共生社会の実現に向けて、制度の狭間の問題など、新たな課題の解決にチャレンジしていくために、「福岡から日本の社会課題を解決する」というミッションを掲げ、組織内部の環境整備や財源確保策の検討・実践等を行いました。

① 多様な寄付の手法の開発と実践

毎月、定額をクレジットカード払いや口座引落としにより寄付する仕組み（マンスリーサポーター）により、自主財源の確保に向け、ホームページ等の環境整備等を行いました。

② ファンドレイジングの基盤整備

継続的な寄付者を増やすためのアプローチ、寄付者との関係構築の強化、本会の取組みを可視化するため、情報を一元的に管理する「データベース」の活用やニュースレターの発行、活動報告会を行いました。

③ 「SDGs実践プラットフォーム」の構築

今後の福祉政策の基本方針である「地域共生社会の実現」と、企業の社会貢献意識の高まりを動機付けている「SDGs（持続可能な開発目標）」が目指す「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」とが、軌を一にしていることを捉え、企業等との連携による社会課題解決モデルを考案し、協働を働きかけました。

4. 権利擁護事業の拡充

(1) 本人主体の生活を実現するための日常生活自立支援事業の実施

認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人たちが、地域で自立した生活が送れるよう、契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などを支援しました。

また、判断能力が著しく低下した利用者については、本会による法人後見受任による対応のほか、専門職による成年後見等につながりました。

〔対応件数〕 (件)

相談援助	18,480
問い合わせ	229
初回相談受付	215
新規契約	66

※平成12年1月からの累計契約件数2,098件

※事業開始からの累計解約件数1,766件（死亡・施設入所・成年後見制度への移行等による）

〔現契約件数〕 332件 (件)

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他
90	69	172	1

（２）成年後見推進センターの機能強化

福岡市が設置した「福岡市成年後見推進センター」の運営を受託し、成年後見制度の普及・啓発及び相談対応、後見人等候補者の受任調整など、成年後見制度の利用促進に向けて取り組みました。また、相談支援機関等からの相談に対し専門職を現地に派遣する取り組みや権利擁護支援に携わる関係機関同士の連携を強化する取り組みを行いました。

① 相談対応

〔延べ相談件数〕 1,368件

うち、成年後見相談会（専門職による個別相談会） 38件／14回

〔相談対応実績〕 (件)

電話相談	1,159
来所相談	170
成年後見相談会	38
訪問等	1
合計	1,368

〔相談内容別実績〕 (件)

成年後見制度の概要（申立人・後見人等候補者・申立書類作成・報酬助成等）	2,584
身元引受、死後事務など身寄りに関すること	62
法的課題に関すること（相続・遺言、債務整理等）	57
成年後見制度以外の福祉制度に関すること（日常生活自立支援事業等）	20
その他（親族間トラブル、キーパーソン不在等）	501
合計	3,224

※1回の相談に複数の相談内容が含まれるため相談件数の数とは一致しない。

② 後見人等候補者の受任調整

会議名	実施回数 (回)	審議件数 (件)	受任調整件数		
			ケース検討件数	受任調整件数	受任者調整件数
ケース検討・ 受任者調整会議	24	123	6	120	137

※受任者調整件数にはケース検討審議事案からの受任者調整も含む。

※複数後見も含まれるため審議件数と受任者調整件数は一致しない。

③ 成年後見等アドバイザー派遣

〔延べ派遣回数〕 2回 〔派遣専門職〕 弁護士

④ 出前講座・講演依頼等

【附属明細書：P. 11（別表 4）参照】

⑤ 福岡市権利擁護支援ネットワーク協議会研修会

実施日	参加者数 (人)	内容
11 月 27 日	56	令和 7 年度中央区地域包括ケア推進会議 権利擁護部会 拡大研修 (中央区地域保健福祉課との共同開催)
2 月 12 日	89	第 3 回中央区多職種連携研修会 (中央区医師会との共同開催)
3 月 9 日	70	「次に繋がる！チームによる権利擁護支援の課題を考える事例検討 会 3」 (成年後見センター・リーガルサポート福岡支部との共催)

(3) 市民後見人の養成と活躍支援（一部福岡市委託事業）【附属明細書：P. 12（別表 5）参照】

「福岡市市民後見人養成研修」（対面形式）を実施し、新たな市民後見人候補者 13 名を養成しました。

過年度に実施した同研修修了者も含め、希望者を「福岡市市民後見人候補者名簿」に登録し、その中から新たに 11 人が市民後見人として家庭裁判所により個人選任されました。

また、同研修修了者のうち、希望者を法人後見サポーター（本会の法人後見業務の履行補助者）として名簿に登録し、後見業務の実務経験を積む場を提供したほか、書類作成業務等の OJT 研修や、スキルアップ研修を開催し、技能習得や活動意欲の醸成を図りました。

登録先	登録者 (人)
福岡市市民後見人候補者名簿 (うち、活動者)	53 (19)
法人後見サポーター名簿 (うち、活動者)	57 (18)

(4) 法人後見事業の推進

「日常生活自立支援事業」や「ずーっとあんしん安らか事業」等の契約者が、判断能力低下後も安心した生活が送れるよう、法人として成年後見人等を受任することにより、継続的な支援に取り組みました。

また法人後見受任ケースを市民後見人へ引き継ぐ場合、本会が後見等監督人を受任し、被後見人等が安心して生活できるよう支援しました。

〔受任件数〕 (人)

	新規受任	累計受任 (平成 24 年度～)	現受任 (※)	終了
法人後見	4	140	38	102
後見等監督人	0	6	2	4

(※) 現受任内訳 (人)

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
法人後見	29	4	5	38
後見等監督人	2	0	0	2

(5) 親なき後支援事業の推進

障がいやひきこもりなど、生きづらさを抱えている人の「親なき後にどう備えるか」という問題解決の一助として、生命保険信託による「生活費の確保」と身上保護サービスによる「伴走支援」を行う「親なき後支援事業」を周知するとともに、親なき後に関する市民からの幅広い相談に対応しました。

〔対応件数〕 (件)

相談	新規契約	現契約	解約
114	0	0	0

〔支援対象者の内訳〕 (人)

種別	ひきこもり	知的障がい者	精神障がい者	重複障がい等	不明
件数	0	9	47	34	21

※複数回答のため、相談件数と内訳の総数は一致しない。

5. 居住支援の推進と空家・空室の活用

(1) 「住まい・まちづくりセンター」の運営

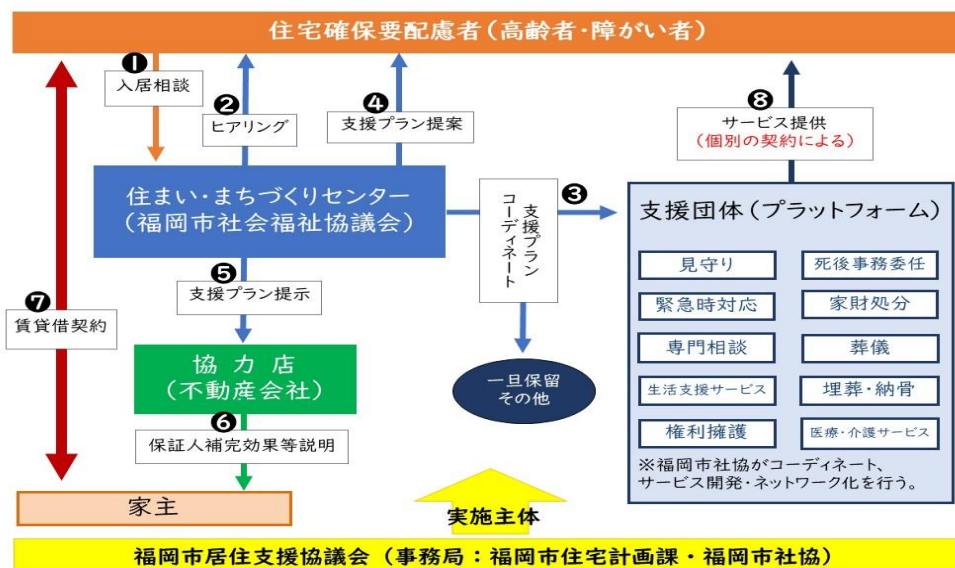
高齢者・障がい者・社会的養護出身者・子育て世帯・低所得者などの住宅確保要配慮者を含め、誰もが安心して地域で生活が続けられる社会を実現するため、“住まい”と“日常生活支援”を一体的に提供し、安心して継続居住できるよう支援を行いました。

また、生活困窮者への初期費用給付が開始された住宅セーフティネット法等の制度・政策を活用しつつ緊急連絡先の引受けや転貸借を行っている居住支援法人^(※)等とのネットワークを更に強化させることで、対応力向上を図りました。

(※) 居住支援法人…住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進に向けた支援を実施する都道府県が指定する法人。

(2) 「住まいサポートふくおか」による住替え支援の実施（福岡市居住支援協議会事業）

住替えに困っている高齢者や障がい者世帯を対象に、入居支援と入居後の生活支援のコーディネートを行いました。また、民間賃貸住宅への入居に協力する不動産会社を「協力店」、入居中の様々な生活支援を担う団体を「支援団体」として登録し、「プラットフォーム」（事業運営の基盤となる仕組み）を運営しました。



〔登録・相談実績等〕

協力店登録社数（社）	支援団体登録数（団体）	相談受付数（件）	賃貸借契約締結数（件）
66	14	699	85

〔内数：障がい者の実績〕（件）

相談受付数	賃貸借契約締結数
237	21

（３）居住支援法人事業の実施

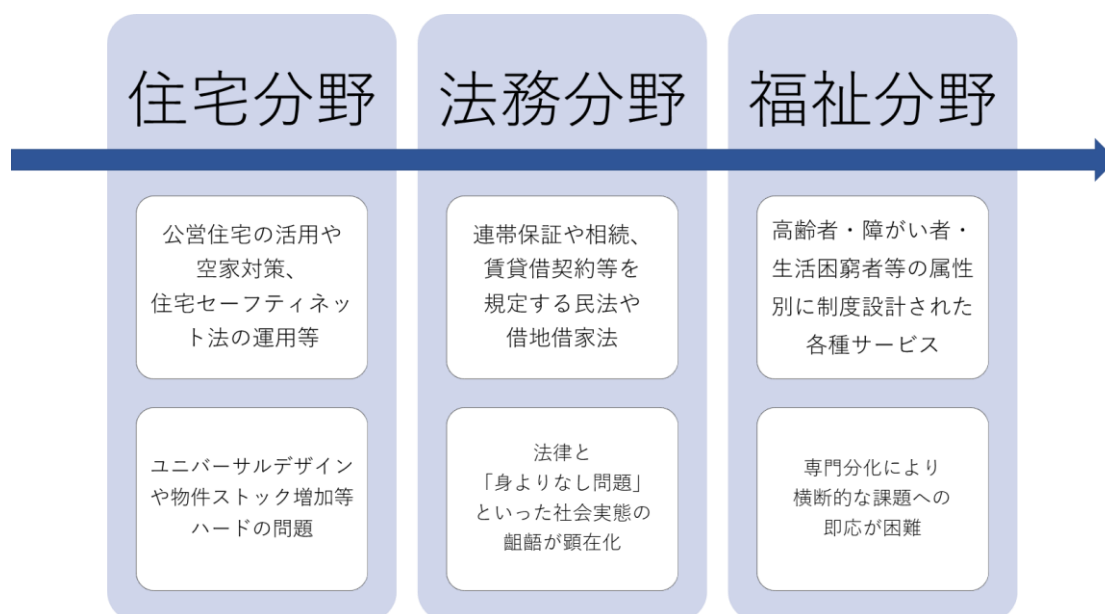
住宅確保要配慮者（高齢者・障がい者を除く）を対象に、「法人後見事業」や「生活福祉資金貸付事業（転宅費）」等の市社協本部の各事業間及び他の関係機関との連携を通じて、主に市内民間賃貸住宅への入居支援と入居後の生活支援をコーディネートしました。

〔相談実績等〕相談受付数：１２８件、賃貸借契約締結数：７件

（４）制度の狭間を埋める分野横断的な役割の実践

「住まい」を基点に、制度の狭間に取り残されている課題の発見・整理や狭間を埋める手段を検証するとともに、課題の解消に向けて「多分野協働のプラットフォーム」の形成を図り、福祉や住宅など複数分野に横串を刺す居住支援策を展開しました。

また、地域共生社会実現への重要なアプローチ手法である「多機関協働」「複合的課題を抱えるケースへのアウトリーチ」等を実践し、関係者との緊密な協力体制を構築することで迅速な転居支援を行いました。



（５）空家を福祉活用する「社会貢献型空家バンク」

一般社団法人古家空家調査連絡会（建築士、弁護士、司法書士、税理士、宅建士等の専門家により結成）との共同事業として、建築や税務・法務などの課題に専門家がワンストップで対応する仕組みを運営し、「増え続ける空家・空室」を活用して、地域カフェや子ども食堂、シェアハウスや福祉サービス事業所など、今までに創出した事例の活動維持、新たな活用ケースの創出に努めました。

〔新たな活用ケース〕

名称	開始時期	校区	活用方法
五福の家	令和７年４月	若久校区（南区）	地域共生型福祉拠点

(6)「五福の家」による地域共生型福祉拠点事業の実施【新規】

遺贈を受けた不動産（南区若久）を活用して、集いの場である「カフェ五福の家」をはじめとして、自立援助ホーム、福祉等の関係団体のシェアオフィス、地域の防災倉庫などの多様な取り組みを行う地域共生型の福祉拠点「五福の家」を開設しました。

取り組みの1つである「カフェ五福の家」を令和7年4月19日にオープンし、子どもから高齢者、障がいのある人など、世代や属性に関わらず誰もが気軽に集える居場所として、多くの方々に利用いただきました。また、各種ワークショップや講座・座談会などを開催し、新たなつながりや交流が生まれる場となっています。

【取り組み内容】

- ・カフェ五福の家 週3回（火・木・土曜日）営業
年間来客数 3,747人 1日平均来客数 約26人
- ・福祉等の関係団体のシェアオフィス
- ・自立援助ホーム TIES（タイズ）
- ・地域の防災倉庫
- ・みんなの畑

6. 地域福祉を推進するための基盤づくり

(1) 個人情報の保護と活用

① 「地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針」の活用

本会で作成した指針を使用し、個人情報の保護と活用に関する正しい理解を促し認識の共有化を図るとともに、地域福祉活動における個人情報取扱いのルールづくりに取り組むきっかけとなるよう、弁護士や大学教授による出前講座を実施しました。

区	校区	会合名等	参加者（人）
西	壱岐東	壱岐東校区社会福祉協議会総会	21
中央	草ヶ江	ふれあいネットワーク研修会	68
合計			89

② 「地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針」（改訂版）の作成

「個人情報共有化に関する取扱いの指針見直し検討委員会」を設置し、平成28年に策定した指針の内容を見直し、改訂版を作成・配付しました。

(2) 福祉教育の推進

① 多様性を尊重する共生社会づくりに向けた福祉教育の推進

障がいのある人が排除されることなく安心して暮らせる共生社会の実現に向け、当事者団体の協力を得て障がいへの理解を深め、支援活動ができるボランティアを養成する講座を実施しました。修了者を障がい者支援を行うボランティアグループにつなげ、支援の輪を広げています。

また、障害者差別解消法の改正にあたり、地域福祉部会・各区校区社協会長会にて、改正法の正しい理解と合理的配慮について学ぶ勉強会を実施しました。

② 関係団体との協働による福祉・介護人材確保に向けた啓発事業の推進

福祉・介護業界の喫緊の課題である「福祉・介護人材の確保」に向け、多種多様な団体がつながりその魅力を発信する「ふくおかカイゴつながるプロジェクト」に実行委員として参加し、福祉・介護業界の魅力を発信を行いました。

実施日	内容	参加者（人）
2月22日	「ふくおかカイゴつながるプロジェクトNEXT2025」 トークセッション、カイゴ・ミラリスケッチ表彰式 他	約1,200

③ 事業所ネットワークと連携した福祉教育カリキュラムの作成と実施【西】

事業所ネットワークと協議し、福祉事業所の知見や経験を活かした福祉教育カリキュラムを作成し、小学校の総合的な学習の時間にて実施しました。

（3）第7期地域福祉活動計画の策定【新規】

第7期地域福祉活動計画策定委員会の開催や、各種会議等でのヒアリングを実施し、関係者や有識者からの意見を踏まえ、福岡市保健福祉総合計画とも整合性を図りながら、策定を進めています。

実施日	協議題	委員構成 (選出母体)
10月21日 (第1回)	① 正・副委員長の選任 ② 諮問書手交 ③ 第6期地域福祉活動計画中間評価について ④ 第7期地域福祉活動計画策定方針について ⑤ 第7期地域福祉活動計画全体像	校区社協 民児協 自治協 社会福祉法人 福祉関係機関
1月27日 (第2回)	① 総論 ② 各論（基本目標1 支えあいのある地域づくり）	企業関係者 学識経験者
3月18日 (第3回)	① 各論（基本目標1 支えあいのある地域づくり）修正案 ② 各論（基本目標2 その人らしい暮らしづくり）	行政機関 福岡市社協

7. 地域福祉ソーシャルワーカー（CSW）の機能強化

（1）困難を抱えた人に寄り添いエンパワメントできる専門性を持つCSWの育成

職員の力量を高めるため、職員研修体系に基づき、CSWのスキルアップに重点を置いた「地域福祉専門職研修」を企画・実施するとともに、引き続き外部研修への積極的な参加勧奨を行いました。また、社会福祉士等の資格取得の支援により、多くの職員が有資格者となるなど、職員の資質と専門性が向上しました。

（2）様々な生きづらさや共通の問題を持つ方々が自主的につながり、相互に援助し合うセルフヘルプ（自助）グループへの支援

様々な生きづらさや共通の課題を持つ人のつながりや交流の機会を創出するとともに、共感のなかで悩みを打ち明け、問題解決のために経験や情報を分かち合い、相談活動や社会に理解を広める活動を行うセルフヘルプ(自助)グループの支援に取り組みました。

① 認知症高齢者や家族を支える取組み

i) 家族介護者のつどいの実施【附属明細書：P.13（別表6）参照】

在宅で寝たきり高齢者や認知症高齢者、障がい者等を家庭で介護している家族を対象に、日頃の悩みや体験についての意見交換や介護者同士の交流、心身のリフレッシュを目的とした集いを35箇所で開催しました。

ア 家族介護者のつどいへの助成【博多】

〔助成状況〕 助成団体数3団体 〔助成額〕 6,000円

ii) 認知症高齢者の見守りの仕組みづくり

認知症高齢者の地域での生活を支えるため、福祉施設・事業所等と連携し、地域住民だけでは解決が難しい認知症高齢者への相談・対応や、福祉や介護に関する相談などを行うとともに、日頃の見守り活動や認知症高齢者声かけ訓練などでの連携を進め、地域全体で認知症高齢者を見守る仕組みづくりに努めました。

〔声掛け訓練等 実施校区〕 15校区

（3）多様な相談機関・専門職等との連携強化

① 地域と連携した包括支援事業（福岡市委託事業）

i) 民生委員や「制度の狭間」の支援機関からの相談に基づく個別支援

市社協本部に個別支援型のCSW（地域共生推進員）を10名配置し、民生委員や「制度の狭間」の支援を行っている機関からの相談を積極的に受け付け、複合多問題ケースへの同行訪問や助言等の伴走型支援を行いました。また、多機関協働による支援が求められるケースについては、関係機関と連携しながら課題の整理や役割分担などの支援調整を行いました。

〔相談対応実績〕	（件）
新規相談件数（世帯数）	267
延べ対応件数	4,178

〔主な相談内容〕

- ・生活困窮、金銭管理、債務問題等の経済問題
- ・近隣トラブル
- ・住まいの住み替え、多頭飼育問題等の住まいに関する環境課題
- ・家族・親族問題
- ・支援者不在、孤立 等

ii) つながり支援会議（重層的支援会議）の開催

地域共生推進員が継続的に関わる必要性が高いケースについては、「支援プラン」を作成し、行政や制度の狭間の支援機関等が参加する「つながり支援会議」において、新規プランや見直しプラン等に関する検討を行いました。

〔開催回数〕 12回

〔審議件数〕 新規：35件、見直し：128件、終結：21件（うち1件は終結を保留した）

iii) 支援ネットワークの充実

孤独・孤立の課題を身近なものとして捉え、それぞれの立場でできることを考えるきっかけづくりを目的に、企業や社会福祉法人等を対象とした「地域共生プラットフォーム交流会」を開催しました。

また、交流会参加者を対象に「ニュースレター」を月1回配信し、継続的な関係性を維持しながら、個別課題が生じた際にそのネットワークを支援に活かすことができる体制づくりを行いました。

〔地域共生プラットフォーム交流会〕

実施日	内容	参加者 (人)
2月16日	・基調講演 「身寄りなし問題の背景や地域生活課題から、私たちにできることを考える」 講師：吉武 ゆかり氏（一般財団法人ウェルネスサポートLab） 栗田 将行（福岡市社会福祉協議会 事業開発課） ・グループワーク 「身寄りなし問題」について意見交換し、それぞれの立場でできることを話し合った。	49

② 生活困窮者の課題解決に向けた関係機関との連携、支援

i) 他機関連携による相談支援体制の強化

生活福祉資金受付センターに寄せられる、生活に困窮している人等からの相談に対し、福岡市生活自立支援センターの自立相談支援事業や居住支援法人、障がい者基幹相談支援センター等の窓口につなぎ、自立に向けた支援を行いました。

そのほか、フードバンク活動団体などとの連携により提供された食品を、生活困窮者の支援に活用しました。

〔他機関との相談連携件数〕	(件)
福岡市生活自立支援センター	52
その他の関係機関等	1,003
合計	1,055

〔提供された食品数〕	(品)
フードバンク福岡	1,108
日本非常食推進機構	280
合計	1,388

③ 地域包括支援センターの運営による個別支援機能の強化（福岡市委託事業）

地域において、地域包括支援センターの個別支援と社会福祉協議会の地域支援が融合するような実践を目指し、取組みを進めました。

i) 地域包括支援センター事業業務

〔総合相談・支援業務実績〕		(件)
実件数		481
延べ件数		3,948
相談内容内訳	保健	430
	福祉	106
	医療	250
	介護	2,187
	権利擁護	424
	その他	551

ii) 介護予防支援事業業務

〔介護予防給付請求件数〕

延べ 3, 633件 (月平均約303件)

④ 生活上のよろず相談事業の実施【早良】

区社協が窓口となり、相続・遺言・生前贈与や年金・社会保険、離婚、債務整理等の生活上の悩みに関する相談を受け付けたものについて、CSWが専門職へつなぐ事業を実施していますが、令和7年度は、相談はありませんでした。

⑤ 区役所と連携した食料等提供支援事業の実施【博多】

フードバンク福岡や博多区に関連する企業等から提供された食料や生活用品をフードパントリーとしてストックし、博多区役所来庁者のうち、社会的・経済的に困難を抱える世帯からの相談に応じ、367件の食料等の配布支援を行いました。また、継続的な事業展開のために、11～12月にかけて博多区役所内でフードドライブを実施しました。

⑥ 視察の受入【附属明細書：P.15（別表7）参照】

多職種との連携、CSWによる地域支援、本会が取り組んでいる事業等について、様々な団体からの依頼に応じて視察の受入れを行いました。（延べ50団体、435人）

⑦ 講演等の依頼【附属明細書：P.19（別表8）参照】

様々な団体等からの依頼に応じて講演等を行いました。（延べ114団体、5,768人）

（4）アウトリーチによる相談支援に対応できるCSWの人材配置

積極的に地域へ出向き、地域のボランティア等を介して、制度の狭間の課題を抱える人や支援が必要な人を把握する「アウトリーチ」による相談支援を進めるCSWを配置するとともに、各区社協に適切なCSW配置数を実現できるよう組織的にCSWの人員配置の強化に努めました。

① 生活支援コーディネーター業務(福岡市委託事業)の実施によるCSWの機能強化

福岡市が地域包括ケア推進のため実施している「生活支援体制整備事業」の委託を受け、各区1名の生活支援コーディネーターを配置するとともに、その業務・経験を通して区社協のCSWのスキルアップと機能強化を図りました。

地域支援のノウハウや地縁組織・ボランティアとの関係性を活かし、地域課題の把握や事業者等への参画を働きかけ、包括圏域や区域における社会資源の創出を支援しました。特に買い物支援や地域包括支援センターとの連携を強化し、高齢者の地域での自立した生活を支える体制の構築を進めました。

事業項目

※下線を引いた項目は「重点項目」の再掲

1. 住民主体の小地域福祉活動の推進

- (1) ふれあいネットワークによる平常時の見守りと災害時の避難支援との連動の強化
- (2) ふれあいサロンをはじめとする居場所づくりの強化
- (3) 「校区福祉のまちづくりプラン」策定の推進
- (4) 小地域での生活支援ボランティア活動の推進
- (5) 多様な主体との連携・協働の推進
- (6) 校区社会福祉協議会強化への支援

① 校区社協の運営及び事業に対する助成・支援【附属明細書：P.27（別表9）参照】

（共同募金校区社協助成金、共同募金地区福祉事業費助成金、賛助会費交付金）

区社協と協働し、校区の特性や実情に即した福祉活動を推進するために共同募金配分金を財源として、校区社協の事業運営を支援しました。

〔助成額〕 64,158,640円

② ふれあいランチへの助成・支援

食事の準備が困難な高齢者や障がい者などに、地域住民がボランティアで週1～2回、食事を配ることにより、安否確認、各種相談等を行って交流を深める活動を区社協とともに支援しました。

また、福岡市地域保健福祉振興基金等を財源として、活動費を助成しました。

〔助成校区〕 東区美和台校区 〔助成額〕 285,458円

③ 校区社協広報紙の発行に対する助成

〔助成校区数〕 135校区 〔助成額〕 5,128,717円

④ 校区社協への研修バス等交流事業への助成【東、早良】

交流・親睦や地域福祉に関する理解を深めることを目的としたバスハイクのバス借上げ料や研修会の開催費用を助成しました。

〔助成校区数〕 東区：21校区（参加者数759人）

早良区：22校区（参加者数1,359人）

⑤ 校区社協未設立校区に対する設立支援

区	校区	内容
東	照葉北	校区社協立上げの相談を受け、公民館や民児協と立上げに向けた協議の場を設けた。
	照葉はばたき	
中央	警固	校区社協についての説明を行い、設立に向け5回打合せを行った。

(7) 安心情報キット、緊急時連絡カードの配付事業

かかりつけの病院や緊急連絡先等の情報を書いた用紙を筒に入れて冷蔵庫で保管することができるキットを、一人暮らしの高齢者や障がい者等の地域で見守りが必要な人に配付しました。また、見守り活動のツールとしても活用できる緊急時連絡カードを配付しました。

〔安心情報キット配付者数〕 3,885人

〔緊急時連絡カード配付数〕 8,313枚

① 救急搬送時医療情報シートの普及促進【南】

医師会と連携し、安心情報キットに救急搬送医療情報シートを封入する取組みへの協力を引き続き行いました。

(8) 民生委員児童委員協議会との連携

共に地域福祉を推進する民生委員の活動を支援するため、民生委員児童委員協議会への活動費を助成しました。

〔助成額〕 7,275,800円

(9) レクリエーション用具の貸出【東、博多、南、城南、早良、西】

地域活動等で活用できるレクリエーション用具の貸出を行いました。

(10) 地域カフェ支援事業【南】

施設と住民が協働し、施設職員や利用者、地域高齢者・住民、ボランティア等、誰もが気軽に立ち寄り、お茶などを飲みながら、会話や交流できる居場所（地域カフェ）を実施する団体に対して助成しました。

〔助成状況〕 15校区・21箇所（延べ参加者数5,706人）

〔助成額〕 150,000円

2. ボランティアによる社会参加の拡大

(1) ボランティアの参加や裾野の拡充

① その他シニア世代のボランティア活性化の取組み

i) 講座・交流会の実施

実施日	内容	延べ受講者（人）
6月28日、7月5日	ボランティアのための傾聴入門講座	51

ii) イベントへの参加（ボランティア紹介ブースの出展）

実施日	内容
11月7日	福岡地区しごと・ボランティア合同説明会
2月28日	アラカンフェスタ

(2) 分野を超えた様々な人・団体等と協力した活動や連携モデルの開発

(3) 新たな社会課題への対応と課題解決力の向上

(4) 災害時のボランティアや支援活動を円滑に進めるための日頃からの備え

(5) 福祉施設等に対するボランティア活動の推進

実施日	内容	受講者（人）
12月5日	福祉施設等ボランティア担当職員研修会	26

(6) ボランティアのコーディネート及び活動情報の収集・発信

公的なサービスでは対応できない多様な生活課題を抱える人たちを支援するため、ボランティアをはじめ、関係機関へ働きかけるとともに、ボランティア活動希望者が実際の活動に結びつくよう支援しました。

① ボランティアコーディネーション事業

i) 個人ボランティア活動相談・登録

㊤活動相談 (合計)	㊦活動紹介等	相談のみ	マッチング率(㊦÷㊤)
413	404	9	97.8%

ii) ボランティア依頼

㊤依頼合計	㊦対応	延べ対応ボランティア数（人）	マッチング率(㊦÷㊤)
1,179	966	2,074	81.9%

iii) 依頼内容

内容	件数	内容	件数	内容	件数
外出付き添い	651	技術・学習指導	21	朗読	0
話し相手	46	遊び相手	6	託児	6
日常活動援助	50	点訳	55	その他	72
行事援助	250	家事援助	22		
合計				1,179	

iv) 登録ボランティア内訳

	新規登録者 (人)	現登録者 (人)
個人ボランティア	190	1,153
ボランティアグループ	0 団体 (0)	183 団体 (5,205)

② 施設等ボランティア情報の周知

市内の福祉施設で募集しているボランティアの情報をまとめた「施設ボランティア募集情報」を配布しました。

③ ボランティア情報紙「風」発行

ボランティアセンターに寄せられたボランティア募集やイベント・講座情報、グループ情報などを掲載した情報紙を発行しました。

〔発行回数〕 4回 (3か月に1回発行)

〔発行部数〕 約1,350部/回

④ 芸能グループ情報冊子発行

ボランティアセンターで把握している芸能グループ (111団体) の情報をまとめた冊子を作成しました。

(7) 各種ボランティア講座の充実

多様な生活課題に応えるため、一定の知識や技術を必要とするボランティアを、各種講座を通じて養成しました。

① 技術ボランティア養成講座

主に、視覚障がい者を対象とした技術を要する活動に参加するボランティアを養成するための講座を開催しました。

実施日	内容	受講者 (人)
8月28日～11月20日 (全10回)	視覚障がい者のための音訳ボランティア養成講座	28
10月4日～18日 (全3回)	視覚障がい者外出サポートボランティア入門講座	14
9月18日～11月27日 (全11回)	点訳ボランティア養成講座	15

② 課題別ボランティア養成講座

公的サービスでは対応することが難しい、多様な生活課題を抱える人の支援を行うボランティアを養成しました。

実施日	講座内容	受講者 (人)
10月18日	おでかけ付き添いボランティア入門講座	10

③ 校区社協や公民館との共催による地域でのボランティア養成講座の開催

地域の支え合いや地域の課題解決に向けて、地域で活動するボランティアを養成するため、関係機関や関係団体と協力して養成講座を実施しました。

区	延べ実施回数 (回)	延べ参加者 (人)	主な内容
東	2	38	「ちょこボラ」(ちょこっとボランティア)について、コミュニティ活動やボランティアについて
博多	1	20	認知症サポーター養成講座
中央	1	44	生活支援ボラグループ立ち上げに向けた座談会
早良	2	41	地域ボランティア研修
西	4	78	傾聴ボランティア養成講座、認知症サポーターステップアップ講座他
合計	10	221	

(8) 登録ボランティアグループへの支援

登録ボランティアグループの活動の推進・充実を図るため、状況の把握、課題解決の支援を行いました。

① センター登録ボランティアグループ一覧の作成

登録ボランティアグループの状況調査を行い、センター登録ボランティアグループ一覧を更新しました。

② 活動拠点・資材・情報の提供

ボランティアルームなどの活動室、印刷室、オンラインツール等の貸出を行いました。
〔件数〕2, 065件(延べ9, 569人利用)

③ 福岡市ボランティア連絡協議会への支援

社会福祉の推進を目的とした自主的な活動を支援するため、福岡市ボランティア連絡協議会へ活動費を助成しました。

〔助成額〕100,000円

④ 芸能ボランティアグループ情報の動画配信

福祉施設などで活動している芸能ボランティアグループの活動内容を知らせるため、53団体の芸能グループの動画を配信しました。

⑤ ボランティアグループ向け研修

ボランティアグループ向けに活動の活性化、円滑化を目的として、ボランティア活動やグループの会議などで活用できる知識や技術について学ぶ研修を実施しました。

実施日	内容	受講者(人)
2月27日	ボランティア活動に活かせるコミュニケーションスキル、レクリエーションについて	27

(9) ボランティア交流の日事業【中央、早良】

切手整理によるボランティアの交流会を実施し、企業や学生ボランティア、他区在住のボランティアの受入れも行いました。

区	実施日
中央	毎月15日 14:00~16:00 ※会場によって日時の変更有
早良	毎月8日(閉所日の場合は、直後の開所日) 14:00~15:00

3. 社会課題解決モデルの開発と拡充

(1) 地域子どもプロジェクト(一部福岡市委託事業)

(2) 買い物支援(一部福岡市委託事業)

(3) 「終活」支援

(4) 社会福祉法人等とのさらなる連携・協働

(5) 「社会的処方」の手法とあり方に係る研究

(6) 「ファンドレイジング」を組み込んだ社会課題解決の仕組みづくり

(7) ファミリー・サポート・センター事業の推進(福岡市委託事業)

子育て家庭が地域の中で孤立することなく、安心して子育てができるよう、地域において子育てを「応援して欲しい」「応援したい」人を組織化し、会員制による相互援助活動を広めました。

〔会員登録状況〕(人)

依頼会員	提供会員	両方会員	合計数
3,902	927	353	5,182

〔活動内容及び回数〕

	活動内容	回数
1	子どもの習い事等の場合の援助	2,988
2	保育所・幼稚園の迎え	2,632
3	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	1,163
4	保護者等の買い物等外出の場合の援助	941
5	保育所・幼稚園の送り	900
6	(その他) 保育所・学校等休み時の援助 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 保育所・幼稚園の送り及び登園前の預かり 等	4,029
合計		12,653

〔講習会・交流会等の実施〕

- ・依頼会員登録講習（支部：月～金曜日、本部：第3土曜日）
- ・提供・両方会員養成講習会（5回、受講者延べ327人）
- ・フォローアップ講座（2回、受講者延べ39人）
- ・支部会員交流会（2回、参加者27人）
- ・提供会員・両方会員懇談会（7回、参加者延べ83人）

（8）子育てサロン・サークルの支援

子育てサロン・サークルの活動内容の充実や、子育て相談の場を設けることを目的とした子育てサロン・サークルへの保育士派遣事業や講師派遣事業を実施しました。

① 子育てサロン支援事業（上記保育士派遣に係る助成）【博多・早良】

〔助成状況〕 博多区：助成団体数1団体〔助成額〕 2,000円
早良区：助成団体数2団体〔助成額〕 6,000円

② 子育てサロンへの助成【南】

〔助成状況〕 助成団体数23団体〔助成額〕 230,000円

（9）「子育てリフレッシュ事業」の実施【東・西】

区	実施日	内容	参加者（人）
東	7月3日	子育て講話	保護者 17
		子育て情報紹介	託児 11
西	9月19日	ベビーサイン教室	保護者 13
		子育てに役立つ情報提供	子ども 13

4. 権利擁護事業の拡充

- （1）本人主体の生活を実現するための日常生活自立支援事業の実施
- （2）成年後見推進センターの機能強化
- （3）市民後見人の養成と活躍支援（福岡市委託事業）
- （4）法人後見事業の推進
- （5）親なき後支援事業の推進

5. 居住支援の推進と空家・空室の活用

- （1）「住まい・まちづくりセンター」の運営
- （2）「住まいサポートふくおか」による住替え支援の実施（福岡市居住支援協議会事業）
- （3）居住支援法人事業の実施
- （4）制度の狭間を埋める分野横断的な役割の実践
- （5）空家を福祉活用する「社会貢献型空家バンク」
- （6）「五福の家」による地域共生型福祉拠点事業の実施【新規】

6. 地域福祉を推進するための基盤づくり

(1) 個人情報の保護と活用

(2) 福祉教育の推進（福祉学習教材の提供、出前福祉講座）

学校や地域、市民、企業に対し、福祉やボランティア活動についての学習の機会を提供し、理解と関心を高め、福祉活動への参加の動機付けを図るため、出前福祉講座を実施しました。

	件数	主な内容	参加者(人)
本部	7	車いす体験、アイマスク体験、講話 等	185
東	7	車いす体験、アイマスク体験、キッズユマニチュード講座、手話講座	520
博多	7	車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験	481
中央	7	車いす・アイマスク体験	366
南	8	車いす体験、アイマスク体験、ユニバーサルデザイン紹介、点字体験、視覚障がい者による講話、福祉クイズ	662
城南	2	車いす体験、アイマスク体験、福祉に関する講話	42
早良	7	車いす・アイマスク体験、当事者による講話、ユニバーサルデザインに関する講話、校区の福祉活動紹介、ボッチャ体験	388
西	18	車いす・アイマスク体験、点字教室、高齢者疑似体験、当事者による講話、地域福祉活動の講話、施設見学、ゴールボール体験	1,096
合計	63		3,740

(3) 第7期地域福祉活動計画の策定【新規】

(4) 広報紙やホームページ等を通じた情報発信

① 広報紙「ふくしのまち福岡」の発行

福祉に関する様々な情報や本会事業、その他福祉やボランティアに関する情報を広く市民に紹介し、福祉に対する意識の向上を図るため、広報紙を発行・配布しました。

〔発行回数〕 3回（第136号・第137号・138号）※市版及び7区版を発行

〔発行部数〕 305, 500部（第136号）

301, 880部（第137号）

301, 620部（第138号）

② 社協ワーカーだよりの発行

校区社協や民生委員をはじめ、地域福祉活動に携わる人や関係機関に対し、月1回「社協ワーカーだより」を発行し、市・区社協の職員（「社協ワーカー」）の役割を啓発するとともに、本会の活動内容の情報を発信しました。

③ ホームページの運営

本会が行う福祉活動や幅広い福祉の情報を周知するため、最新情報の発信を行いました。

(5) 福祉のまちづくり推進大会の開催

実施日	会場	内容	参加者(人)
11月14日	福岡市民ホール	福祉活動紹介 中央区小笹校区 公民館・社会福祉協議会・こころ音ひろば 『地域住民の声から生まれた地域福祉活動 ～「おざさポスト」と「こころ音ひろば」～』	800

(6) 市民福祉プラザの運営

① 貸室等運営【附属明細書：P.28（別表10）参照】

i) 貸室管理

市民福祉プラザ(以下「プラザ」という)の各種施設を福祉関係団体や障がい者、高齢者等の市民が十分活用できるように管理運営を行いました。

福岡市公共施設案内・予約システム（通称：コミネット）の活用促進のため、継続した窓口におけるサポートを実施し、利用者の利便性を向上させました。

〔施設全体の利用延べ人数〕 231,970人

ii) プラザ利用団体、地域団体等との懇談会

入居団体やプラザ利用団体と、施設運営に関する意見交換を行い、意見をふまえてプラザ運営の改善を行いました。また、地域団体との懇談会を開催し、地域とプラザの情報を共有し共通の問題等について協議しました。

- ・プラザ入居団体連絡会（6回）
- ・当仁校区自治協議会連絡会への参加（10回）
- ・団体連絡室利用団体との懇談会（1回 参加7団体）
- ・ボランティア連絡協議会との懇談会（1回 参加4団体）

② 福祉啓発

i) 障がい者作品展

障がい者福祉の啓発を図るため、障がい者週間にあわせてレストラン内及びロビーで福祉団体・施設から寄せられた絵画や写真などを展示しました。

〔実施日〕 令和7年12月1日～25日

〔参加数〕 5施設・団体 37作品

ii) ふくふくプラザ写真展

写真を趣味としてプラザを利用している高齢者団体を対象に、生きがい活動の支援と利用団体相互の交流を図ることを目的に、写真展を開催しました。

〔実施日〕

第1回	6月2日～6月15日
第2回	6月18日～7月1日
第3回	7月3日～7月17日
第4回	7月19日～8月1日

〔参加数〕 6団体 103作品

iii) みんなでふくし&ふくふくプラザまつり

福岡市ボランティア連絡協議会、エフコープ生活協同組合、暮らしをかえる「め」の福祉機器展実行委員会等と共催し、地元の唐人町商店街と連携してイベントを開催し、市民の福祉啓発を図りました。より多くの市民の参加と啓発の相乗効果を目的に、介護実習普及センターと連携して「介護フェスタ」と同日に開催しました。

実施日	内容	参加者(人)
9月27日	バリアフリー機器紹介・体験、バザー 他	4,698

iv) バリアフリー映画上映会

視覚や聴覚に障がいがある人もない人も共に映画を楽しむことができる音声や字幕のついた映画の上映会を開催しました。

実施日	内容	受講者(人)
9月27日	映画「愛を積むひと」	143

v) 市民福祉講演会の開催

「子ども・若者」「高齢者・認知症」問題等、市民に関心が高いテーマを選定し、市民へ福祉の啓発と福祉事業への理解を図ることを目的に講演会を開催しました。

実施日	内容等	参加者（人）
7月17日	「共生社会への第一歩」～誰にでも「分かりやすく」「読みやすく」 するためにできること～ 講師：専修大学障がい学生支援室長・教授、(公社)全国学校図書館協議会理事長 野口 武悟 氏	84
12月11日	あなたの隣にもいるかもしれない「セルフ・ネグレクト」 講師：東京医療保健大学大学院看護学研究科 岸 恵美子 氏	86

③ 福祉図書・情報室の運営

i) 利用状況

内容	図書（冊）	ビデオ・DVD（本）
蔵書数	30,745	871
利用状況(貸出数)	10,321	588

〔利用者数〕 延べ26,419人（新規登録者数257人）

〔レファレンス数（調べもの相談）〕 712件

〔インターネット貸出延長件数〕 1,178件

ii) 対面朗読サービス

視覚障がい者などが情報を得る方法の一つとして、福祉図書・情報室で登録ボランティアによる「対面朗読サービス」を提供しました。

〔利用者数〕 延べ41人

(6) 福祉バス運営事業（福岡市委託事業）

高齢者、障がい者団体等の社会参加を支援するため、福岡市から委託を受けて、福祉バスの利用申込受付、旅行代理店への配車予約等を行いました。

〔利用台数〕 (台)

老人クラブ	障がい児・者団体	公民館高齢者教室	その他	合計
334	93	70	34	531

(7) 社会福祉事業従事者研修

福祉に関する知識や技術、組織の中での役割等についての理解を深めるため、民間社会福祉事業従事者や社会福祉関係団体職員を対象とした研修を実施しました。

研修事業名		受講者（人）
新任職員研修Ⅰ【社会人1年目】（2日間）		49
Ⅱ【福祉業務2～3年目】（2日間）		30
中堅職員研修（2日間）		25
リーダー研修（指導的職員）（2日間）		35
メンタルヘルスケア研修（一般職コース）		26
メンタルヘルスケア研修（管理職コース）		22
相談援助面接技術研修（基礎コース）		47
相談援助面接技術研修（中堅者向けコース）		37
救急法研修	第1回	30
	第2回	28
	第3回	29
	第4回	27
福祉レクリエーション研修	第1回	25
	第2回	24
接遇研修（基本コース）	第1回	41

研修事業名		受講者（人）
接遇研修（基本コース）	第2回	32
接遇研修（応用コース）		37
人権研修		27
合計		571

（８）民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業【附属明細書：P. 29（別表 11）参照】

民間社会福祉施設などに従事する職員の福利厚生を推進を目的に事業を実施しました。

加入契約法人数	施設数（箇所）	加入職員数（人）
128	168	5,192

（９）保育士人材確保事業

福岡市内の保育士人材の確保を目的に、保育士が育児休業や産後休暇から復帰する際や、保育士資格を有するが保育士として勤務していない人（潜在保育士）への再就職支援のための貸付事業を実施しました。

① 未就学児がいる保育士の子どもの保育料の一部貸付事業

貸付決定件数（件）	貸付決定額（円）	貸付金送金額（円）
34	7,469,585	6,878,815

② 就職準備金貸付事業

貸付決定件数（件）	貸付決定額（円）	貸付金送金額（円）
19	5,174,083	5,174,083

（１０）ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

「高等職業訓練促進給付金」を活用して養成機関に在学し、将来福岡県内において取得した資格を活かして就職しようとする「ひとり親家庭の親」を支援するため入学準備金や就職準備金の貸付事業を実施しました。

貸付種類	貸付決定件数（件）	貸付決定額（円）	貸付金送金額（円）
入学準備金	10	5,000,000	5,000,000
就職準備金	10	2,000,000	2,600,000

（１１）社会福祉士相談援助実習受入

福祉分野で活躍する人材を育成するため、社会福祉士資格取得を目指す実習生の受入れを行いました。

〔期間〕 ８月１８日～９月１９日のうち２４日間

〔人数等〕 ４人（西南学院大学、久留米大学、聖徳大学、九州医療科学大学）

（１２）施設整備利子補助事業

社会福祉事業の振興を図るため、施設が福祉医療機構から借り入れた資金の利子支払いに対して、補助金を交付しました。また、令和７年度で事業終了となりました。

〔対象〕 １法人・１施設 〔補助金額〕 １０５，０５０円

（１３）寄付金を活用した福祉のまちづくりの推進（共同募金配分、施設・団体助成事業等）

① 寄付受入・配分事業

ⅰ）寄付の受入

本会に寄せられた寄付の受入れを行い、寄付者の意向に沿って本会事業で活用しました。

〔都度の寄付〕

区分		件数 (件)	金額 (円)
市域の事業	市域の事業	101	14,634,964
区域の事業	① 東区	3	176,381
	② 博多区	8	228,644
	③ 中央区	2	8,000
	④ 南区	2	230,000
	⑤ 城南区	3	10,101,000
	⑥ 早良区	7	380,473
	⑦ 西区	2	110,000
	小計	27	11,234,498
ボランティア活動振興基金		1	10,000
合計		129	25,879,462

〔毎月の寄付（マンスリーサポーター）〕

区分	件数 (件)	金額 (円)
市社協事業全般	1,024	2,362,000

(マンスリーサポーター： 98人)

〔寄付物品等〕

主な物品名	件数 (件)	金額 (円)
食料、マスク	2	147,186

ii) 福祉団体への助成

市に寄せられた寄付金（補助金）を財源に、施設・団体助成事業助成金として団体に配分を行いました。

〔件数〕 3団体 〔配分金額〕 312,243円

② 福岡市母子福祉会芙蓉基金ひとり親家庭等福祉振興助成事業

ひとり親家庭等が孤立することなく生活できる地域づくりを支援することを目的として、ひとり親家庭等の福祉を増進し地域で支える取組みに対し、助成を行いました。

〔助成団体〕 4団体 〔助成額〕 447,000円

③ 歳末たすけあい募金配分事業

歳末たすけあい募金の配分を受け、子育て支援団体等が開催する事業等に助成しました。

事業区分	対象者・団体	件数 (件)
助成事業	子育て支援団体	112
	障がい児者支援団体	63
	社会的課題支援団体	6
	交通遺児支援団体	1
助成事業	里親支援団体	1
	地域活動支援センター	9

事業区分	対象者・団体	件数（件）
社会的課題支援事業	ホームレス支援団体 (使い捨てカイロ配布)	5 (1,776 パック)

(14) 車いす等の貸出

歩行が困難な高齢者、障がい者等の外出、通院、社会参加等を支援するとともに、学校・団体等の福祉体験学習等の福祉教育に資するため、車いす等を貸し出しました。

7. 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化

(1) 困難を抱えた人に寄り添いエンパワメントできる専門性を持つCSWの育成

(2) 様々な生きづらさや共通の問題を持つ方々が自主的につながり、相互に援助し合うセルフヘルプ（自助）グループへの支援

(3) 多様な相談機関・専門職等との連携強化

(4) アウトリーチによる相談支援に対応できるCSWの人材配置

(5) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等を対象に、世帯の状況や必要に応じた資金の貸付けを行い、低所得者等の経済的自立と生活意欲の助長や在宅福祉、社会参加の促進を図りました。

① 貸付件数、資金種別相談件数【附属明細書：P.31（別表12）参照】

(6) 生活保護世帯等一時貸付金事業（福岡市委託事業）

生活保護世帯や低所得世帯の緊急時の出費等に対しての貸付けを行いました。

区分	貸付		償還（元金）
	件数（件）	金額（円）	金額（円）
生活保護世帯分	2,383	27,908,100	26,642,705
支援給付分	0	0	0
低所得世帯分	0	0	0
離職者緊急支援つなぎ分	0	0	0
合計	2,383	27,908,100	26,642,705

8. 運営等及びその他

(1) 会務の運営（理事会・評議員会等）【附属明細書：P.32（別表13）参照】

① 理事会・評議員会の開催

② 評議員選任・解任委員会の実施

③ 監査の実施

(2) 各区運営部会の開催【附属明細書：P.34（別表14）参照】

校区社協や民生委員、福祉施設関係者との連携・協働を図り、各区の事業推進や課題等について、地域性や実情を踏まえて審議するため、各区運営部会を開催しました。

(3) 各区校区社協会長会等の開催

校区社協との連携・協働により、地域福祉の推進を図ることを目的として、市域での地域福祉部会及び各区校区社協会長会を開催しました。また、民生委員、社会福祉施設関係者との連携・協働を図るため、民生委員児童委員部会及び施設部会を開催しました。

(4) 職員の資質向上と人材育成（職員研修、資格取得への支援）

職員研修体系に基づいた職員研修を実施するとともに、社会福祉士等の資格取得を支援し、職員の資質と専門性の向上に努めました。また、メンター制度を実施し、若手職員等のキャリア形成上の課題解決を援助し、個人の成長を支えるとともに、職場内での問題解決をサポートする体制づくりを行いました。

(5) 人事評価制度の実施

人事評価制度に基づき、人事考課を実施し、職員の育成や配置等に活用しました。

(6) 財源の確保（会員の拡充、寄付つき商品の開発等）

寄付つき商品の仕組みを運用するなど自主財源の確保に努めました。

内訳	金額（円）
会費（正会費）	1,785,500
会費（賛助会費）	24,878,700
外部講師謝礼等	1,770,811
寄付つき商品（※）	856,657
視察受入料	530,500
広報紙広告	580,000
車いす等貸出料	28,700
実習生受入謝礼	192,000
使用済み切手売却益	155,900
合計	30,778,768

※寄付つき商品の実績 【附属明細書：P.36（別表15）参照】

(7) 収益事業の実施（プラザレストラン運営、自動販売機の設置）

プラザ利用者の利便性を図るとともに、収益金をプラザ福祉啓発事業及び本会事業に活用しました。

(8) その他の社協事業

① 戦災引揚死没者追悼式

昭和20年6月19日の福岡大空襲による戦災死没者及び海外からの引揚げの途中に亡くなられた人の冥福を祈り、福岡市と共催で「福岡市戦没者合同追悼式」を実施しました。

実施日	会場	参加者（人）
6月19日	福岡市庁舎15階講堂	112

② 福岡市社会福祉協議会顕彰

社会福祉増進のため意欲的に活動을続け、その功績が顕著な個人、団体に対し表彰を行いました。

〔福岡市社会福祉協議会会長 表彰〕 219人・35団体

〔福岡市社会福祉協議会会長 感謝状〕 141人・29団体

③ 福祉サービス苦情解決

本会が実施する福祉サービスの内容をより充実するため、利用者の苦情や意見を中立公正な立場から、あつせん・調整を行う苦情解決第三者委員を選任し、周知しました。

④ 友愛訪問事業への助成

福岡市老人クラブ連合会の友愛訪問事業に対し、活動費の助成を行いました。

〔助成額〕 1,949,674円

⑤ 更生保護施設助成事業

更生保護の推進を目的とした活動を行っている団体に対して、助成を行いました。

〔助成団体数〕 3団体 〔助成額〕 1,830,000円

⑥ ふれあい入浴事業

高齢者の健康増進や交流を目的とする「ふれあい入浴事業」の活動を支援するため、市内の公衆浴場に対し、福岡市の補助金を財源として活動費の助成を行いました。

〔助成箇所数〕 8箇所 〔助成額〕 2,490,000円

令和 7 年度 事業報告

【附属明細書】

・ 別表 1	子どもの居場所（区社協が支援した居場所づくり）	1
・ 別表 2	地域が主体の買い物支援	7
・ 別表 3	終活出前講座	9
・ 別表 4	成年後見出前講座	1 1
・ 別表 5	福岡市市民後見人養成研修	1 2
・ 別表 6	家族介護者のつどい	1 3
・ 別表 7	視察の受入	1 5
・ 別表 8	講演等の依頼	1 9
・ 別表 9	校区社協の運営及び事業に対する助成・支援	2 7
・ 別表 10	市民福祉プラザ貸会議室等利用状況	2 8
・ 別表 11	民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業	2 9
・ 別表 12	生活福祉資金貸付事業	3 1
・ 別表 13	会務の運営	3 2
・ 別表 14	部会の開催	3 4
・ 別表 15	寄付つき商品	3 6

※特に記載がない場合、文中、グラフ・表中の数値は令和 8 年 3 月 3 1 日現在のもの。

別表1 子どもの居場所（区社協が支援した居場所づくり）

校区名・地区名			活動名称	主な機能		
				居場所	食事提供	学習支援
東 (35)	1	志賀島	085（おやこ）の志賀島食堂	○	○	○
	2	美和台	ななカフェこども食堂	○	○	○
	3		フリースペース東	○	○	
	4	和白東	アソシエキッズわひがのWa	○	○	
	5		WAN1（わんわん）こども地域食堂	○	○	
	6	香住丘	香住丘すまいるキッチン	○	○	
	7		夜の香住っ子ひろば	○	○	
	8	香椎下原	しもばる広場	○	○	
	9		みんな食Minna	○	○	○
	10		まちスポ福岡東ちょこっとサポートくらぶ		○	
	11	香椎	えがお広場	○	○	
	12	香椎東	愛い空食堂	○	○	
	13	香椎浜	かしいはま子どもの家ぽてとほうす、 ぽてとは+ふらす	○	○	
	14	若宮	フリースペース若宮	○	○	
	15	舞松原	舞♥myキッチン	○	○	
	16	八田	こども食堂「木もれび」		○	
	17	青葉	なかよしキッチン	○	○	
	18	多々良	ベリーベリーグッドランド	○	○	
	19		まちかど図書館	○	○	
	20		085（おやこ）のなごみんな食堂	○	○	
	21		まちかど食堂 【年度途中で休止】	○	○	
	22		みつこキッチン～みんなの食堂～		○	
	23	名島	ふくふく子ども食堂	○	○	
	24		名島げんきもりもりハウス	○	○	○
	25		ほばしらみんなのふね	○	○	
	26	箱崎	ぽあんの樹		○	
	27		寺子屋わくレオはうす	○	○	○
	28		はこざきカフェ こども食堂	○	○	
	29	東箱崎	ひがはこランド	○	○	○
	30	宮松	はらだ2丁目食堂	○	○	○
	31		宮松ハコハコ子ども広場	○	○	
	32	松島	みんなの食堂	○	○	
	33		子供がつくる子供食堂お日さまのお手て	○	○	○
	34	馬出	「子どもサポート・ナルド」馬出こども食堂	○	○	○
	35	照葉	照葉っ子広場	○	○	○

校区名・地区名			活動名称	主な機能		
				居場所	食事提供	学習支援
博多 (28)	1	御供所	御供所3-17食堂	○	○	○
	2		福岡国際子ども食堂&居場所	○	○	
	3		りあん	○	○	○
	4	大浜	キッズキャンパス&子ども食堂	○	○	
	5		おおはま寺子屋			○
	6	奈良屋	オレズ・マガラズこどもしょうどう	○	○	
	7	冷泉	ちいき食堂ユウアヒア	○	○	
	8	東住吉	麻生塾子ども食堂すみーる	○	○	
	9	千代	四季のいろ子ども食堂	○	○	○
	10		フリースペースイルタテエ博多	○	○	
	11	堅粕	ワンコインレストラン「ハーモニー」	○	○	
	12		あすちる食堂	○	○	
	13		おかもと食堂		○	
	14	東光	イロハニ子ども食堂	○	○	
	15		地域食堂	○	○	
	16	吉塚	こどもみらい食堂	○	○	○
	17		福岡国際子ども食堂&居場所	○	○	
	18	東吉塚	東吉塚学習支援「なないろ」			○
	19	那珂	山王学舎子ども食堂	○		
	20		トーキョーコーヒー博多住吉	○	○	
	21		G-Palaはぴぶら食堂	○		
	22	弥生	やよいの森	○		
	23	板付	板付ふれあい子ども食堂	○	○	
	24		みんな あつまれ！！とみひろ食堂		○	
	25	板付北	いたきたこども食堂	○	○	
	26	那珂南	なかみなみわいわい食堂	○	○	○
	27	席田	学習支援	○		○
	28		席田ランチ	○	○	○
中央 (29)	1	春吉	yummys		○	
	2		天真館×はぴぶら食堂	○	○	
	3	警固	夢食堂		○	
	4		100人カレー警固	○	○	○
	5		はぴぶら食堂	○	○	
	6		みんなの食堂iroiro	○	○	
	7	大名	キラキラえがおFukuoka	○		
	8		フリースペースイルタテエ警固	○	○	
	9		はぴぶら食堂	○	○	○
	10		グランマキッチンカフェ	○	○	○

校区名・地区名			活動名称	主な機能		
				居場所	食事提供	学習支援
中央 (29)	11	赤坂	多機能型子ども支援拠点（赤坂）	○	○	○
	12		和食笠 子ども食堂	○	○	
	13		ぴーす子ども食堂	○	○	
	14	赤坂	子ども食堂	○	○	
	15		ごはんノート	○	○	○
	16	舞鶴	はぴぶら食堂	○	○	○
	17	簀子	子ども食堂絆	○	○	
	18	当仁	海と空のひろば	○	○	○
	19		まるけん子ども食堂 【年度途中で休止】		○	
	20		海鮮食堂 鮎寅	○	○	○
	21		大濠ふれあい食堂	○	○	○
	22	南当仁	みなっち食堂	○	○	
	23	平尾	こども食堂CIRCLE	○	○	○
	24		ひだまり食堂	○	○	
	25	草ヶ江	こどもおとなくさがえ食堂	○	○	
	26		はぴぶら食堂	○	○	○
	27	小笹	小笹こども食堂	○	○	
	28	笹丘	たんぼぼこども食堂	○	○	○
	29		笹丘校区ふれあい食堂 【年度途中で休止】	○	○	○
南 (26)	1	西高宮	こひつじの園ランチカフェ	○	○	○
	2	大池	大池子ども食堂	○	○	○
	3	長住	子ども勉強広場	○	○	○
	4		きん哉子ども食堂		○	
	5		みらいあんこども食堂 in 長住	○	○	
	6	西長住	みんなのサロン	○	○	○
	7	西花畑	ひばるん子ども食堂	○	○	○
	8		花っ子みんなの食堂	○	○	○
	9	花畑	花畑みんなの食堂	○	○	○
	10		ひかり食堂	○	○	
	11	柏原	柏原社協ふれあい食堂	○	○	○
	12		夏休み子どもカフェ	○		○
	13	鶴田	いただきます（つるたパレード）	○	○	○
	14	野多目	いるか食堂	○	○	○
	15	三宅	ハレルヤ食堂	○	○	○
	16		子育て世帯（ひとり親世帯）フードお助け隊		○	
	17		親子ふれあい食堂	○	○	

校区名・地区名			活動名称	主な機能		
				居場所	食事提供	学習支援
南 (26)	18	若久	リカバリーセンターふくおかこども食堂	○	○	
	19		だれでも食堂	○	○	
	20	東若久	子どものための自学室	○		○
	21	高木	はだかんぼう	○	○	○
	22	臼佐	ニコニコキッチンinまとば	○	○	
	23	横手	かがやき食堂	○	○	
	24	弥永	100人カレー弥永	○	○	
	25	弥永西	わけっこマルシェ		○	
	26		地域でつくる学童保育 ツリーハウス	○	○	○
城南 (20)	1	鳥飼	SOMPO流こども食堂	○	○	
	2		あさ結	○	○	
	3	別府	別府子ども食堂		○	
	4		朝の元気は、朝食から！		○	
	5		キッチンしろくま	○	○	
	6		夜ごはん いっしょに作っていっしょに食べよう！	○	○	
	7	田島	たしまっ子キッチン	○	○	
	8		ちゃちゃルーム	○		
	9	長尾	キッズキッチンわくわく	○	○	○
	10		長尾じじばばこども食堂	○	○	
	11		カトレア子ども食堂		○	○
	12		神松寺子ども食堂	○	○	○
	13		フリースペースイルタテエ城南	○	○	
	14		よかよかの森	○	○	
	15		スズラン子ども食堂	○	○	○
	16	堤丘	子ども食堂心笑	○	○	
	17	堤	であい子ども食堂	○	○	
	18	西長住	あすたーほっこりこども食堂	○	○	
	19	七隈	ななっこ料理道場	○	○	
	20		いるか食堂	○	○	
早良 (21)	1	西新	bao・bab子ども食堂	○	○	
	2		大阪王将子ども食堂 【年度途中で休止】	○	○	
	3		西新こどもプレイス	○	○	
	4	高取	EL Paraiso 食堂	○	○	○
	5		こころふくよか食堂	○	○	

校区名・地区名			活動名称	主な機能		
				居場所	食事提供	学習支援
早良 (21)	6	大原	大原すまいるキッチン	○	○	○
	7	小田部	あったかキッチンinこたべ	○	○	
	8	飯原	I♡いいはらキッチン	○	○	
	9	原西	原四つ角こころ子ども食堂	○	○	○
	10	飯倉	飯倉こころ保育園 こころ食堂	○	○	○
	11		ひだまりキッチン	○	○	○
	12	有田	こども食堂さい	○	○	
	13	賀茂	かるがも子ども食堂	○	○	
	14	田村	かふえもりのいえ	○	○	○
	15	野芥	つくって食べよう土曜昼！	○	○	○
	16	四箇田	さわら子ども食堂	○	○	
	17	入部	みんなのおうち	○	○	○
	18		いるべカフェ	○	○	
	19	内野	こども食堂YOKAYOKA	○	○	○
	20		つくって・たべて・あそぼう！	○	○	○
	21	早良	Connect Café（コネクトカフェ）	○	○	○
西 (22)	1	愛宕	みんなかふえ・あたご	○	○	
	2		あたごこども食堂	○	○	
	3		豊浜フリースペース	○	○	
	4	内浜	ジョイプレイス福岡	○	○	
	5		おばちゃん家でごはん	○	○	
	6		マミスマテーブルのこども食堂	○	○	
	7	下山門	下山門団地子ども食堂	○	○	
	8	西陵	子ども食堂	○	○	
	9		寺子屋せいりょう	○		○
	10	城原	地域食堂「タベルバ」	○	○	○
	11		こども食堂わきた	○	○	
	12	石丸	SOMPO流こども食堂	○	○	
	13		ケイカフェ子ども食堂	○	○	
	14		石丸子ども食堂	○	○	
	15	壱岐	あゆみらいニコニコ食堂	○	○	○
	16	壱岐南	学viva	○	○	○
	17		レインボーキッチン	○	○	
	18	壱岐東	子ども食堂「いきひがし」	○	○	
	19	玄洋	アスラボSmile×はぴぷら食堂	○	○	

校区名・地区名			活動名称	主な機能		
				居場所	食事提供	学習支援
西 (22)	20	今宿	ひまわりさんさん広場	○	○	
	21	今津	まぜこぜカフェ	○	○	
	22	元岡	こもれび ～ゆかいな仲間たち～	○		○
合計			181	164	169	67

別表2 地域が主体の買い物支援

区		校区 地区	自治会・町内会（※）	内容	協力企業・施設等	開催 延べ回数
東 (18)	1	青葉	みどりが丘1～3丁目自治会	買い物先への送迎	彩苑、福岡シティ物流 光薫福祉会	12
	2		土井団地2区自治会	臨時販売	久本青果、特別養護老人ホーム なごみの里・つくしの里	12
	3		青葉台自治会		久本青果、ふくや、あおやぎ生 花店、特別養護老人ホームなご みの里・つくしの里	12
	4		青葉市住団地	移動販売	筑前はかたや	43
	5	八田	若宮1－1自治会 若宮1－2自治会	買い物先への送迎	特別養護老人ホーム光薫寺 ビハーラ	12
	6		緑ヶ丘自治会			11
	7	香椎浜		買い物同行	ボランティアグループ	8
	8	香椎東		買い物先への送迎	ボランティアグループ	2
	9		香椎宮の台自治会	買い物先への送迎	ボランティアグループ	24
	10		松香団地自治会 香椎宮前団地自治会	移動販売	ばんぶーおりちなる	48
	11	城浜		移動販売	筑前はかたや	64
	12	多々良	大橋浜田自治会	買い物先への送迎	彩苑、福岡シティ物流	8
	13	若宮		買い物先への送迎	彩苑、福岡シティ物流	8
	14	香住丘		買い物先への送迎	さんすまいる唐原、香椎ヶ丘リ ハビリテーション病院、杜の 家、デイサービス東、エブリワ ンズ・ストーリー、たかもと ホームクリニック、CoCo. com、 あおぞらの里、訪問看護ステー ションしんゆう	152
	15	美和台		移動販売	筑前はかたや	81
	16	奈多	雁の巣自治会	買い物先への送迎	東福岡和仁会病院	12
	17	名島	名島県住公社	移動販売	筑前はかたや	78
	18	舞松原		移動販売	筑前はかたや、木下鮮魚店「う おしげ」	46
博多 (7)	1	席田	大井町内	移動販売	久本青果	47
	2		東平尾町内			50
	3	東光	東比恵	移動販売	ポパイ	50
	4		東比恵	移動販売	ながら医院、もりもり商店、ひ よこ本舗吉野堂、うさぱんベー カリー	23
	5	月隈	金隈新町	買い物先への送迎	金隈病院	24

区		校区 地区	自治会・町内会（※）	内容	協力企業・施設等	開催 延べ回 数
博多 (7)	6	東月隈	下月隈団地	買い物先への送迎	アットホーム博多の森、あおやぎ	15
				臨時販売	筑前はかたや、ふくや、あおやぎ、お肉の大ちゃん、しもだんキッチン、にこちゃん弁当、WASEI、五ヶ山豆腐	14
	7	東吉塚	吉塚8丁目自治会	移動販売	筑前はかたや	31
中央 (3)	1	小笹	小笹県住公社（小笹団地）	買い物先への送迎	Reful	24
	2			移動販売	筑前はかたや	48
	3	笹丘		買い物先への送迎	Reful	24
南 (8)	1	東花畑		買い物先への送迎	総合葬祭西日本典礼	12
				移動販売	筑前はかたや	51
	2	長丘		買い物先への送迎	飛鳥会館	6
	3	西高宮		買い物先への送迎	飛鳥会館	6
	4	鶴田	鶴田3区町内会	移動販売	筑前はかたや	53
	5			買い物先への送迎	飛鳥会館、総合葬祭西日本典礼、ささえあい太陽、グループホーム心の丘	12
	6	柏原		買い物先への送迎	飛鳥会館	11
					ボランティアグループ	56
	7	西花畑	桧原7丁目	買い物先への送迎	デイサービス笑日記	12
城南 (1)	1	堤	東油山6丁目	買い物先への送迎	メモリード	6
早良 (5)	1	入部	さわら台団地	買い物先への送迎	さわら南よかここネット	21
	2		重留3丁目自治会	移動販売	とくし丸	52
	3	早良		買い物先への送迎	さわら南よかここネット	47
	4	脇山	椎原町内	買い物先への送迎	さわら南よかここネット	38
	5	飯倉	星の原団地	買い物先への送迎	介活ネットさわら中央	1
西 (6)	1	能古		移動販売	アイランドパーク、能古の市	24
	2	壱岐	ウエストヒルズ自治会・ネアシティガーデン自治会・生松台自治会	移動販売	移動スーパーいと丸くん	54
	3		生松台自治会	移動販売	移動スーパーいと丸くん	33
	4	金武		買い物先への送迎	林ホールディングズ	97
	5	元岡	田尻東地区、泉東地区	買い物先への送迎	寿生苑	4
	6	姪北	姪浜北住宅	臨時販売	松下商店、居酒屋「玄」	9
合計			48地区			1,629

※自治会・町内会欄が空欄のところは、校区を範囲として実施

※自治会・町内会欄に複数の地域が記載されているところは、複数の自治会・町内会にまたがって実施

別表3 終活出前講座

No	実施日	対象団体・会合名等	開催場所	参加者（人）
1	4月11日	サロン野間台	野間台集会所	15
2	4月26日	しろうおカフェオレンジ	多々良公民館	20
3	5月8日	九州産業大学	博多サンヒルズホテル	50
4	5月14日	ふれあいサロン城西テラス	城西団地集会所	16
5	5月15日	オレンジカフェ西高ゆるり	特養市崎の杜	11
6	5月20日	脇山公民館	脇山公民館	10
7	6月4日	福岡東家族会	東保健福祉センター	6
8	6月18日	香椎下原校区社協	香椎下原公民館	75
9	6月26日	くすの会	あすみん	16
10	7月6日	西障がい者フレンドホーム	西障がい者フレンドホーム	8
11	7月8日	志賀島老人クラブ	志賀公民館	56
12	7月10日	千早公民館	千早公民館	53
13	7月11日	南区民児協	アミカス	137
14	7月18日	早良区民児協	早良市民センター	60
15	8月7日	中央区民児協	舞鶴庁舎	56
16	8月8日	アスリートのか	原公民館	10
17	8月21日	南片江第二長寿会	南片江公民館	23
18	9月4日	ふれあいサロンしろうお	室見公民館	15
19	9月10日	西区保健福祉センター	西区保健福祉センター	40
20	9月12日	九州産業大学	九州産業大学	20
21	9月19日	ふれあいサロンお達者サロン駅東2	GSハイム博多	10
22	9月27日	照葉校区社協	照葉公民館	28
23	9月30日	堅粕公民館	堅粕公民館	28
24	10月10日	金山団地サロン	金山団地集会所	50
25	10月10日	第三親和会	唐戸集会所	20
26	10月22日	博多第7地区民児協	東月隈公民館	13
27	11月11日	香椎下原校区ねんりんクラブ連合会	香椎下原公民館	25
28	11月12日	有住公民館	有住公民館	55
29	11月14日	小笹サロン	小笹公民館	35
30	11月27日	野芥公民館	野芥公民館	24
31	11月28日	中央第10地区民児協	小笹公民館	20
32	12月8日	草ヶ江校区きんしゃいふれあいサロン	草ヶ江公民館	24

No	実施日	対象団体・会合名等	開催場所	参加者（人）
33	12月11日	野芥公民館	野芥公民館	24
34	1月16日	南第1地区民児協	大楠公民館	20
35	1月16日	中央特別支援学校PTA	福岡市発達教育センター	45
36	1月20日	なごやかサロン喫茶	長丘コーポ	20
37	1月22日	久山町社協	久山会館	4
38	1月28日	臼佐校区社協	臼佐公民館	25
39	2月3日	ふれあいサロンはまゆう	リバーガーデン	25
40	2月12日	長住校区社協	長住公民館	15
41	2月13日	ふれあいサロンさつき会	パロス・リバーコート博多五番館裏集会所	30
42	2月16日	城南区社協事務所	城南区役所別館	39
43	2月18日	のぞみ会	次郎丸会館	13
44	2月19日	四箇田公民館	四箇田公民館	13
45	2月19日	シャルマンふれあいサロン	シャルマンコーポ博多	18
46	2月20日	高木校区社協	高木公民館	30
47	2月28日	草ヶ江校区社協	草ヶ江公民館	70
48	3月11日	太郎丸町内サロンほのぼの会	太郎丸公民館	15
49	3月12日	愛宕浜校区社協	愛宕浜公民館	30
50	3月19日	大楠校区社協	大楠公民館	19
51	3月19日	オレンジカフェ西高ゆるり	特養市崎の杜	10
52	3月24日	東区ねりんクラブ	なみきスクエア	23
合計				1,517

別表 4 成年後見出前講座

No	実施日	依頼団体	開催場所	参加者（人）
1	6月7日	当仁校区ふれあいネットワーク推進会	当仁公民館	63
2	7月1日	福岡精神保健福祉ふくおか連絡会	東区保健福祉センター	9
3	7月26日	大池校区社会福祉協議会	大池校区社会福祉協議会	60
4	8月26日	東区民生委員児童委員協議会	東市民センターなみきホール	85
5	10月2日	社会福祉法人玄洋会 やまと更生センター家族の会	やまと更生センター/和室	9
6	10月29日	社会福祉法人 自立の里 保護者会	自立の里 大地	17
7	1月17日	ふよう港サロン	ふよう港ハイツ集会所	20
8	1月31日	おしゃべりテント（南片江校区社会福祉協議会）	みつけばる会館	35
9	2月24日	千代校区 まちの保健室	千代人権まちづくり館	9
10	3月10日	ふれあいサロンフォーシーズン	アーベイン集会所	15
11	3月24日	千代校区 まちの保健室	千代公民館	20
合計				342

別表5 福岡市市民後見人養成研修（全27科目）

受講者数：14名

日程	日程	科目
1日目	9月13日	開講式・オリエンテーション
		市民後見概論
		対人援助の基礎
		日常生活自立支援事業の概要
2日目	9月20日	成年後見制度の基礎①（制度概論、法定後見制度）
		成年後見制度の基礎②（任意後見制度）
		民法の基礎（家族法・財産法）
3日目	10月1日	福岡市の福祉制度① 高齢者施策
		高齢者虐待防止法
		福岡市の福祉制度② 障がい者施策
		障害者虐待防止法・障害者権利条約・差別解消法
		関係制度① 生活保護
		関係制度② 生活困窮者自立支援制度
4日目	10月11日	対象者の理解（知的障がい・精神障がい）
		対象者の理解（認知症） ※施設見学を含む
5日目	10月15日	関係制度③ 公的医療保険制度・年金制度
		家庭裁判所の役割
		市民後見活動の実際
		前半の振り返り
6日目	10月25日	成年後見の実務① 一般事務（身上保護）
		成年後見の実務② 意思決定支援
7日目	11月1日	成年後見の実務③ 開始の申立・就任時の事務
		成年後見の実務④ 一般事務（財産管理）
8日目	11月8日	成年後見の実務⑤ 不定期・特別な事務・報告・申立
		成年後見の実務⑥ 終了時の事務
9日目	11月15日	地域福祉活動と社会資源
		終活～これからの人生をより良く生きるために
		中核機関等の実務と市民後見活動に対するサポート体制
		研修の振り返りと今後の活動について
		閉講式

別表6 家族介護者のつどい

区		校区・団体	実施日	会場	参加者(人) (介護者のみ)
東 (8)	1	東区小規模多機能 ネットワーク	4月18日	なみきスクエア	57 (15)
	2		8月1日		
	3		12月16日		
	4		3月4日		
	5	西戸崎	7月23日	西戸崎公民館	48 (12)
	6		11月26日		
	7		3月4日		
	8	香陵	2月14日	香陵公民館	19 (0)
博多 (3)	1	板付北	8月21日	板付北会館	23 (0)
	2	弥生	10月29日	弥生公民館	23 (4)
	3	那珂南	9月13日	那珂南会館	26 (2)
中央 (1)	1	中央区社協	6月18日	福岡市科学館	7 (7)
南 (10)	1	大楠	6月19日	大楠公民館	39 (18)
	2		10月16日		
	3		2月19日		
	4	野多目	11月21日	野多目公民館	36 (0)
	5	横手	8月22日	横手公民館	27 (10)
	6		2月13日		
	7	西花畑	6月3日	西花畑公民館	54 (7)
	8		10月7日		
	9		1月14日		
	10		2月18日		
城南 (12)	1	城南区社協	7月29日	城南区役所別館	17 (8)
	2		12月5日	SOMPOケアラウアーレジデンス 福岡別府	
	3	長尾	11月6日	長尾公民館	12 (6)
	4	七隈	7月5日	七隈公民館	10 (4)
	5		10月25日		
	6		1月24日		
	7	田島	5月17日	よりあいの森	51 (6)
	8		7月19日		
	9		9月20日		
	10		11月15日		
	11		1月17日		
	12		3月21日		

区		校区・団体	実施日	会場	参加者(人) (介護者のみ)
早良 (10)	1	在宅介護者の会 つらなり	5月14日	早良市民センター他	70(20)
	2		6月11日		
	3		7月9日		
	4		9月10日		
	5		10月8日		
	6		11月12日		
	7		12月10日		
	8		1月14日		
	9		2月11日		
	10		3月11日		
西 (1)	1	周船寺	11月10日	周船寺公民館	11 (6)
合計	35				530 (125)

別表7 視察の受入

(1) 社協

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
1	6月4日	船橋市社会福祉協議会	終活サポートセンター事業について	5
2	6月27日	埼玉県社会福祉協議会	終活サポートセンター事業について	11
3	7月4日	札幌市社会福祉協議会	法人運営全般について	1
4	7月4日	古賀市社会福祉協議会	終活サポートセンター事業について	5
5	7月11日	佐伯市社会福祉協議会	ファンドレイジングと終活サポートセンター事業について	3
6	7月24日	隠岐の島町社会福祉協議会	終活サポートセンター事業について	4
7	8月4日	大村市社会福祉協議会	身寄りのない高齢者等が抱える生活上の課題に対応するためのモデル事業について	7
8	9月22日	飯塚市社会福祉協議会	終活サポートセンター事業について	5
9	10月28日	京都府社会福祉協議会	権利擁護体制構築にむけた具体的事業の状況について	4
10	10月30日	大阪市社会福祉協議会	終活サポートセンター事業について	2
11	11月27日	群馬県社会福祉協議会	居住支援事業について	2
12	11月28日	山口県社会福祉協議会	死後委任事務の取組と課題 寄附や会員増強に向けた取組と課題	2
13	12月9日	鷹栖町社会福祉協議会	ファンドレイジング事業について	2
14	1月19日	魚津市社会福祉協議会	地域共生型の多機能拠点（五福の家）の運営について	2
15	1月22日	静岡県社会福祉協議会	終活サポートセンター事業について	4
16	1月23日	今治市社会福祉協議会 社会福祉法人来島会	居住支援関係事業について	2
17	2月6日	佐世保市社会福祉協議会	居住支援関係事業について	3

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
18	2月9日	久万高原町社会福祉協議会	終活サポートセンター事業について	4
19	2月17日	箕輪町役場福祉課 箕輪町社会福祉協議会	終活サポートセンター事業について	9
小計				77

(2) 校区社協、民生委員

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
20	6月5日	古殿町民生委員協議会	高齢者にかかわる取り組み等について (五福の家)	16
21	10月9日	野芥校区社会福祉協議会	五福の家の取り組みについて	21
22	11月6日	長与町民生委員児童委員協議会 (長与町役場)	終活支援制度について	18
23	11月11日	賀茂校区社会福祉協議会	地域のコミュニティの強化と活用例について	32
24	12月6日	東花畑校区社会福祉協議会	五福の家の取り組みについて	17
小計				104

(3) 団体

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
25	5月29日	共生の里	終活サポートセンター事業について	3
26	9月17日	青森県社会福祉法人経営者協議会	孤立・孤独を防ぐ「みんなの居場所」づくりについて (五福の家)	10
27	10月3日	流山高齢者安心ネット	おひとりさまの終活事業について	5
28	10月20日	奈良弁護士会	身寄りなき人の終活支援について	6
29	1月15日	須恵町共生のまちづくり推進協議会	地域のボランティア活動について (生活支援ボランティアグループ・地域カフェ等)	15

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
30	2月24日	Aダッシュワーク創造館	住まいやまちづくり支援を継続的に行うための仕組みづくりについて	14
31	3月24日	大野城市 中央まどかネット（大野城市中央地区コミュニティ運営協議会）	誰でも集える居場所を続けていくための運営方法の選択肢や工夫について（五福の家）	34
小計				87

（４）行政・議会関係

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
32	4月24日	柳川市議会	おひとり様の終活について	2
33	7月30日	岸和田市議会	おひとり様の終活について	5
34	8月6日	川口市議会	終活サポートセンター事業について	5
35	10月29日	文京区議会 厚生委員会	終活サポートセンター事業について	11
36	10月31日	熊本県上益城地域振興局保健福祉環境部福祉課	終活サポートセンター事業・法人後見事業について	15
37	10月31日	川口市議会	終活サポートセンター事業について	6
38	11月5日	岡山市議会	終活サポートセンター事業について	12
39	11月11日	生駒市議会	終活サポートセンター事業について	10
40	1月20日	北海道議会 保健福祉委員会	地域共生社会を目指す取組みについて（五福の家）	12
41	2月2日	厚生労働省 成年後見制度利用促進室	中核機関の実情、課題、身寄りのない高齢者等への支援の実態について意見交換	3
42	3月6日	豊中市役所 福祉部 地域共生課	身寄りのない高齢者等の支援について	5
43	3月31日	福岡市	新しい住まい方を考えるスタディツアー（五福の家）	14
小計				100

(5) 大学、研究機関

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
44	5月12日	西南学院大学 ヘンリム福祉研究院	日本の終活支援の現状と課題について	15
45	2月6日	山口県立大学社会福祉学部社会福祉学科	個別支援と地域支援の一体的展開の手法について	12
46	3月10日	立命館大学産業社会学部 花園大学社会福祉学部 他	事業所ネットワークと地域の福祉力	3
47	3月19日	東京都健康長寿医療センター研究所・東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター	空き家・空き店舗を活用した地域の居場所の実態について	1
小計				31

(6) その他

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
48	6月11日	万寿総合社会福祉館	日本の地域福祉について	6
49	6月20日	富川市社会福祉協議会(プチョン市)	孤独・孤立の課題に対する取り組みについて	18
50	6月26日	ユハン大学校(YuhanUniversity)	日本の地域福祉について	12
小計				36

合計				435
----	--	--	--	-----

別表 8 講演等の依頼

(1) 地域団体（福岡市内）

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
1	5月16日	南区民生委員児童委員協議会	生活福祉資金と共同募金について	40
2	6月2日	東区民生委員児童委員協議会	社会福祉協議会の活動について	3
3	6月2日	中央区民生委員児童委員協議会	社会福祉協議会の活動について	2
4	6月2日	南区民生委員児童委員協議会	社会福祉協議会の活動について	20
5	6月7日	西高宮校区社会福祉協議会	地域で支え合う超高齢化社会	74
6	7月9日	西区第9地区民生委員児童委員協議会	民生委員と地域共生推進員との関わりについて	27
7	7月15日	城南区民生委員児童委員協議会 地域福祉部会	困りごと相談への対応について（社会福祉協議会の取組み）	43
8	8月28日	東区民生委員児童委員協議会	民生委員と地域共生推進員との関わりについて	90
9	9月29日	博多区民生委員児童委員協議会 自立支援部会	「自立支援部会」研修	70
10	11月28日	城南区第2地区民生委員児童委員協議会	民生委員と地域共生推進員との関わりについて	19
11	12月1日	東区民生委員児童委員協議会	社会福祉協議会の活動について	125
12	12月11日	中央区民生委員児童委員協議会	社会福祉協議会の活動について	48
13	12月12日	南区民生委員児童委員協議会	社会福祉協議会の活動について	100
14	1月14日 1月15日	早良区民生委員児童委員協議会	民生委員と地域共生推進員との関わりについて	89
15	1月19日 1月26日	博多区民生委員児童委員協議会	社会福祉協議会の活動について	99
16	2月5日	福岡市民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員と社会福祉協議会について	224
17	3月2日	東区民生委員児童委員協議会	社会福祉協議会の活動について	4

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
18	3月2日	中央区民生委員児童委員協議会	社会福祉協議会の活動について	3
19	3月2日	南区民生委員児童委員協議会	社会福祉協議会の活動について	30
20	3月27日	西区第7地区民生委員児童委員協議会	民生委員と地域共生推進員との関わりについて	27
小計				1, 137

(2) 社会福祉協議会

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
21	7月8日	全国社会福祉協議会	今後の権利擁護支援体制のあり方検討会議	30
22	7月9日	糸島市社会福祉協議会 糸島市	終活事業について	11
23	7月24日	志免町社会福祉協議会	実践から見る地域の助け合い活動について	134
24	9月3日	兵庫県内社協勉強会事務局	身寄りのない高齢者等の支援について	40
25	9月9日	全国社会福祉協議会	社協活動全国会議	120
26	9月20日	福岡県社会福祉協議会	中核機関等の実務と市民後見活動に対するサポート体制について	21
27	12月4日	福津市社会福祉協議会	福津市市民後見推進事業市民後見人フォローアップ研修	21
28	12月20日	福岡県社会福祉協議会	中核機関等の実務と市民後見活動に対するサポート体制について	18
29	1月16日	岡山県都市社協連絡協議会	身寄り問題とその解決手法について	80
30	1月19日	高知県社会福祉協議会	身寄りのない方への対応や支援に関する福岡市社協の取組みについて	45
31	2月19日	古賀市社会福祉協議会	古賀市社会福祉大会・地域福祉講演	200
32	3月5日	鹿児島県市町村社会福祉協議会連絡協議会	ネットワークの仕組みづくりや地域福祉活動への支援について	14
小計				734

(3) 団体・企業

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
33	5月29日	博多区ソーシャルワーカー交流会事務局	博多区ソーシャルワーカー交流会	25
34	6月6日	ケアマネット博多	ケアマネット博多総会	80
35	7月18日	NPO法人知多地域権利擁護支援センター	福岡市における死後事務の現状について	149
36	7月27日	福岡市身体障害者福祉協会	終活全般、エンディングノートの書き方	60
37	7月31日	福岡市介護実習普及センター	認知症介護講座	45
38	8月19日	村上華林堂病院	死後事務を中心に社協事業について	47
39	8月21日	アイリス	城南区地域密着部会	20
40	9月9日	手をつなぐ育成会	令和7年度知的障がい者相談員研修会	19
41	9月10日	福岡市医師会	地域包括支援センター研修会	32
42	9月27日	福岡市介護実習普及センター	デジタル終活について	49
43	10月16日	有限会社縁	福岡市の死後事務委任事業の現状について	16
44	10月23日	桜十字福岡病院在宅センター	桜十字福岡病院在宅センター職員向け研修会	22
45	10月25日	福岡オトナビ塾	ボランティアセンターの事業と現状について	9
46	11月9日	生活困窮者自立支援全国ネットワーク	生活困窮者自立支援全国研究交流大会	110
47	11月30日	障がい児親の会	日常生活自立支援事業について 親なき後支援事業について（パンフ配布のみ）	5
48	12月3日	東区介護支援専門員連絡会	生活困窮者への支援について	60
49	12月10日	福岡子供の家	日常生活自立支援事業・成年後見制度について	10
50	12月24日	福岡市介護実習普及センター	認知症介護講座	20

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
51	1月19日	公益社団法人笹川保健財団	地域共生社会の実現を目指して 福岡市社協の取組みについて	9
52	3月4日	千鳥橋病院	ACPを含む意思決定支援と終活サポートセンターの取組みについて	42
53	3月9日	ヒューマンアカデミー株式会社	福岡県子育て支援員講習	22
54	3月13日	博多区障がい者基幹相談支援センター勉強会	金銭管理支援について	50
55	3月14日	福岡オトナビ塾	地域で活動してみませんか ～ボランティアのすすめ～	66
56	3月18日	中央区医師会	中央区在宅医療に関する市民公開講座	92
小計				1,059

(4) 行政関係（地域包括支援センター、基幹相談支援センター含む）

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
57	6月17日	博多区保健福祉センター健康課	博多区ヘルスメイト養成教室 ボランティアについて	20
58	6月17日	早良区保健福祉センター健康課	コミュニティ活動について・助け合いカードゲーム	30
59	6月19日	城南第5地域包括支援センター	親なき後支援事業の支援状況について	10
60	6月26日	福岡市障がい者基幹相談支援センター	福岡市社会福祉協議会における地域共生社会の実現に向けた取組みについて	10
61	7月1日	南区保健福祉センター健康課	南区食生活改善推進員養成教室 コミュニティ活動やボランティアについて	6
62	7月2日	西区保健福祉センター健康課	食生活改善推進員養成教室 コミュニティ活動について	8
63	7月8日	中央区保健福祉センター健康課	中央区食生活改善推進員養成教室	11
64	7月9日	東区食生活改善推進員協議会	食生活改善推進員養成教室 コミュニティ活動やボランティアについて	17
65	7月16日	城南区保健福祉センター健康課	ボランティアについて	21
66	7月17日	中央区地域保健福祉課	中央区地域包括支援センター社会福祉士向け勉強会	16

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
67	8月5日	福岡市福祉局生活福祉部	福岡市社会福祉協議会における地域共生社会の実現に向けた取組みについて	7
68	8月15日	東区保護課	東区保護課出張研修「成年後見制度について」	16
69	8月27日	福岡市	福岡100ラボmeet up!	13
70	9月17日	南第8地域包括支援センター	南第8・10地域包括支援センター圏域ケアマネ会	34
71	9月19日	中央区地域保健福祉課	福岡100 終活講座	130
72	9月25日	南区保護課	南区保護課出張研修「成年後見制度について」	7
73	9月25日	博多区保護課	新任ケースワーカー研修「成年後見制度について」	25
74	10月10日	南区保護課	日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業、生活保護世帯等一時貸付金事業について	17
75	10月15日	博多第7地域包括支援センター	博多第7圏域連携会議	70
76	10月22日	あいくる	ボランティア入門講座	10
77	10月27日	柳川市	身寄りなし問題と社協が取り組む死後事務委任事業について	25
78	10月29日	博多第8地域包括支援センター	身寄りなし問題と社協が取り組む死後事務委任事業について	18
79	10月29日	早良第5地域包括支援センター	身寄りなし問題と社協が取り組む死後事務委任事業について	32
80	10月29日	博多区保護課	博多区保護課出張研修「成年後見制度について」	11
81	10月30日	福岡市障がい者基幹相談支援センター	区基幹相談支援センターコーディネーター研修	45
82	10月30日	福岡市障がい者基幹相談支援センター	地域共生社会について～福岡市社会福祉協議会の取組み～	45
83	10月30日	福岡市保健所精神保健・難病対策課 精神保健福祉係	自立した生活を送るための社会資源の紹介	10
84	10月31日	東第4地域包括支援センター	東第4地域包括支援センター職員向け研修会	10

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
85	11月6日	博多第8地域包括支援センター	圏域連携会議（地域ケア会議）	36
86	11月11日	福岡市保健医療局健康医療部 地域保健課	福岡市社会福祉協議会の地域福祉 活動の取り組み紹介	18
87	11月14日	早良区保護課	早良区保護課出張研修「成年後見制度につ いて」	13
88	11月18日	南区地域保健福祉課地域包括ケア推 進係	南区地域包括支援センターとの勉強会	15
89	11月25日	中央第1地域包括支援センター、事業 所ネットワーク代表	中央第1圏域事業所ネットワーク（ポラ リス）研修会	60
90	12月3日	早良第9地域包括支援センター	早良第9圏域ケアマネ研修会	27
91	2月19日	福岡 1 0 0 プラザ博多	ボランティアについて講演、ボランティア 体験談、グループワーク	6
92	2月24日	熊本県	成年後見制度利用促進研修会	80
93	2月27日	福岡市保健所精神保健・難病対策課 精神保健福祉係こころのケア共感部 会	社協の事業紹介 ～精神障がいのある方が利用できる社会資 源～	39
94	2月27日	西区保護課	西区保護課出張研修「成年後見制度につ いて」	7
95	3月4日	博多区博多南こどもプラザ	子育てサポーター養成講座 ボランティアについて	7
96	3月4日	中央区保護課	中央区保護課出張研修「成年後見制度につ いて」	11
97	3月25日	東第6地域包括支援センター	東第6圏域ケアマネ事例学習会	22
小計				1,015

(5) 学校関係、学会等

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
98	4月28日	純真学園大学	ボランティア活動について	478
99	5月29日	福岡大学医学部看護学科	地域福祉活動の理念と実際	115
100	6月13日	第一薬科大学看護学科	福岡市社会福祉協議会と地域福祉活動について	9
101	6月26日	学校法人麻生塾麻生医療福祉&保育専門学校	福岡市社会福祉協議会の実際の地域支援について	29
102	9月10日 9月11日	九州ブロック社会福祉協議会	九州ブロック地域福祉研究会議（熊本大会）	300
103	10月14日	九州大学大学院歯学研究院 歯科医学教育学分野	・バリアフリーからユニバーサル デザインへ ・地域福祉活動の実際について	52
104	12月13日	日本マンション学会 一人暮らし高 齢者支援システム研究委員会	「孤立・孤独」「災害弱者の問題」に関する 取り組み	8
105	12月20日	福岡県立大学社会福祉学会	これからの地域共生社会と福祉実践	150
106	2月12日	第一薬科大学看護学部	地域共生社会の実現を目指して ～福岡市社協の取り組み～	88
107	2月13日	第一薬科大学看護学部	地域福祉活動の理念と実際～地域共生社会 の実現を目指す福岡市社協の取り組み～	88
小計				1,317

(6) 職能団体

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
108	8月3日	社労士成年後見センター福岡	成年後見人養成講座	23
109	10月15日	福岡県弁護士会	弁護士会研修	85
110	11月11日	社労士成年後見センター福岡	社労士成年後見センター福岡「10周年シン ポジウム」	100
111	11月21日	福岡県弁護士会	選択型実務修習（司法修習生）	8

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
112	11月29日	社会福祉士会	社会福祉士会合同研修	70
113	1月31日	奈良弁護士会	身寄りなし問題と社協が取り組む死後事務 委任事業について	140
小計				426

(7) 政府関係

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
114	11月5日	厚生労働省	「高齢者住まい・生活支援伴走支援及び広 報啓発事業」松山市現地支援	80
小計				80

合計				5,768
----	--	--	--	-------

別表 9 校区社協の運営及び事業に対する助成・支援

区	区分	助成校区数	金額（円）	備考
東	共同募金校区社協助成金	28	4,954,300	
	共同募金地区福祉事業費助成金	28	3,636,600	
	賛助会費交付金	28	5,188,250	前年度実績の50%を助成
博多	共同募金校区社協助成金	22	3,988,600	
	共同募金地区福祉事業費助成金	22	4,019,200	
中央	共同募金校区社協助成金	13	2,473,200	
	共同募金地区福祉事業費助成金	13	3,717,800	
南	共同募金校区社協助成金	25	4,468,500	
	共同募金地区福祉事業費助成金	25	4,283,100	
	賛助会費交付金	25	3,993,150	前年度実績の70%を助成
城南	共同募金校区社協助成金	11	2,048,000	
	共同募金地区福祉事業費助成金	11	2,637,800	
早良	共同募金校区社協助成金	24	4,169,000	
	共同募金地区福祉事業費助成金	24	3,482,100	
	賛助会費交付金	24	3,372,840	前年度実績の60%を助成
西	共同募金校区社協助成金	25	4,221,800	
	共同募金地区福祉事業費助成金	24	2,350,400	
	賛助会費交付金	22	1,154,000	前年度実績の50%を助成
合計			64,158,640	

別表 10 市民福祉プラザ貸会議室等利用状況

区分			利用状況
貸出施設	ふくふくホール	利用日数	229 日
		利用者数	35,560 人
	会議室 (3室)	利用日数	984 日
		利用者数	33,677 人
	研修室 (7室)	利用日数	2,140 日
		利用者数	77,883 人
	和室・実習室 (7室)	利用日数	1,349 日
		利用者数	27,567 人
	交流ひろば	利用日数	256 日
		利用者数	10,941 人
	計	利用日数	4,958 日
		利用者数小計	185,628 人
その他の施設	福祉用具展示場	利用者数	9,676 人
	施設見学	団体数	30 団体
		利用者数	678 人
	ボランティアルーム等	利用件数	2,065 件
		利用者数	9,569 人
	福祉図書・情報室	開室日数	340 日
		利用者数	26,419 人
		新規登録者数	257 人
		貸出冊・本数	10,909 冊
		対面朗読	41 件
	計	利用者数小計	46,342 人
利用者総数			231,970 人
開館日数			346 日
1日平均利用者数 (利用者総数/開館日数)			670 人

別表 1 1 民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業

(1) 給付事業

内容		決算額	
種別	単価(円)	件数	金額(円)
結婚祝金	30,000	105	3,150,000
出産祝金	30,000	128	3,870,000
入学祝金	30,000	227	6,810,000
義務教育修了祝金	30,000	131	3,930,000
死亡見舞金		97	2,802,000
内訳	本人	2	200,000
	被扶養者	3	210,000
	その他	92	2,392,000
傷病見舞金		35	1,060,000
内訳	15日以上	17	340,000
	31日以上	18	720,000
災害見舞金		1	100,000
内訳	全焼(壊)	1	100,000
	半焼(壊)	0	0
	その他	0	0
小計		724	21,722,000
退会一時金	基準給与から算出	748	88,087,964
合計		1,472	109,809,964

※1 双生児を含む

(2) 貸付事業

内容		決算額	
種別	貸付限度額(円)	件数	金額(円)
生活資金		0	0
内訳	5年未満	0	0
	5年以上	0	0
	10年以上	0	0
	慶弔資金	0	0
医療資金		0	0
入学資金		2	750,000
内訳	高校	1	250,000
	大学	1	500,000
罹災資金		0	0
合計		2	750,000

(3) 長期加入職員記念品贈呈事業

区分		決算額	
加入期間	記念品額(円)	件数	金額(円)
5年	5,000	341	1,705,000
10年	10,000	160	1,600,000
15年	10,000	93	930,000
20年	15,000	55	825,000
25年	15,000	31	465,000
30年	20,000	20	400,000
35年	20,000	9	180,000
送料・挨拶状印刷費		-	165,000
合計		709	6,270,000

(4) 文化体育事業

内容		決算額		
区分	補助額（円）等	件数	金額（円）	
文化鑑賞引換券補助	一人当たり上限3,000円	5,416	12,226,000	※1
映画鑑賞補助				※2
観劇補助	費用の一部	139	311,500	※3
プロ野球観戦補助	費用の一部	54	251,400	
海浜プール利用補助	費用の一部	242	80,600	
がん検診費用補助	費用の一部	280	688,611	
アソシエーションミュージアム入場券	費用の一部	300	150,000	
ハウスエンボス入場券	費用の一部	200	243,600	
ジェフグルメカード購入	費用の一部	340	323,000	
合計		6,971	14,274,711	

※1 文化鑑賞引換券補助…12,226,000円のうち420,000円は、福岡市補助金収入を充当
件数は加入職員配布数。

※2 映画鑑賞補助：仕入れ額で販売するため、補助なし。
大人2,054枚、小人1,124枚を販売。

※3 プロ野球観戦補助…R7年度63試合のうち54試合54人が補助利用。

別表 1 2 生活福祉資金貸付事業

(1) 貸付件数

資金種類	貸付決定額等	
	件数	金額(円)
福祉資金（福祉費）	78	21,545,000
福祉資金（緊急小口資金）	33	3,284,000
教育支援資金	235	160,291,500
総合支援資金	2	750,000
不動産担保型生活資金	1	18,970,000
臨時特例つなぎ資金	0	0
合計	349	204,840,500

(2) 資金種別相談件数

資金種別	件数
福祉資金（福祉費）	1,032
緊急小口資金	1,487
教育支援資金	1,915
総合支援資金	211
不動産担保型生活資金	123
臨時特例つなぎ資金	4
その他（貸付対象に非該当など）	1,329
合計	6,101

別表 1 3 会務の運営

(1) 理事会の開催

実施日	審議事項等	出席者(人)または 決議の省略の場合は 同意者等(人)
〈第1回〉 4月1日 (決議の省略)	・ 常務理事の選定	理事18 監事3
〈第2回〉 6月2日	・ 令和6年度事業報告 ・ 令和6年度収支決算 ・ 令和7年度第1次資金収支補正予算案 ・ 定款施行細則の一部改正案 ・ 職員退職手当支給規程の一部改正案 ・ 次期役員候補者の選任 ・ 次期評議員選任候補者の推薦 ・ 次期評議員選任・解任委員会委員の選任 ・ 令和7年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集	理事14 監事3
〈第3回〉 6月23日 (決議の省略)	・ 会長、副会長、常務理事、区担当理事の選定	理事17 監事3
〈第4回〉 9月27日 (決議の省略)	・ 理事候補者の選任 ・ 評議員選任候補者の推薦 ・ 決議の省略の方法による評議員会の招集	理事17 監事3
〈第5回〉 2月16日 (決議の省略)	・ 理事候補者の選任 ・ 評議員選任候補者の推薦 ・ 決議の省略の方法による評議員会の招集	理事13 監事3
〈第6回〉 3月9日	・ 令和8年度事業計画案 ・ 令和8年度資金収支予算案 ・ 事務局の組織及び事務分掌規程の一部改正案 ・ 職員就業規則の一部改正案 ・ 役員の報酬等に関する規程の一部改正案 ・ 職員退職手当支給規程の一部改正案 ・ 個人情報保護規程の一部改正案 ・ 役員等賠償責任保険の契約 ・ 副会長、区担当理事の選定 ・ 福祉サービス苦情解決第三者委員の選任 ・ 令和7年度第4回評議員会（臨時評議員会）の招集	理事13 監事3

(2) 評議員会の開催

実施日	審議事項等	出席者(人)または決議の省略の場合は同意者(人)
〈第1回〉 定時評議員会 6月23日	・ 令和6年度事業報告 ・ 令和6年度収支決算 ・ 令和7年度第1次資金収支補正予算案 ・ 次期役員の選任	22 (理事2)
〈第2回〉 臨時評議員会 11月27日 (決議の省略)	・ 理事の選任	27
〈第3回〉 臨時評議員会 2月27日 (決議の省略)	・ 理事の選任	27
〈第4回〉 臨時評議員会 3月23日	・ 令和8年度事業計画案 ・ 令和8年度資金収支予算案 ・ 役員の報酬等に関する規程の一部改正案	19 (理事2)

(3) 評議員選任・解任委員会の実施

決議があった日	内容等	出席者(人)または決議の省略の場合は同意者(人)
〈第1回〉 6月11日	次期評議員の選任	5
〈第2回〉 10月8日	評議員の選任	5
〈第3回〉 2月19日	評議員の選任	5

(4) 監査の実施

実施日	監査事項等	監事(人)
5月19日	業務執行の状況及び財産の状況を監査	3

別表 1 4 部会の開催

(1) 地域福祉部会

開催日	内容（議題）	参加者 （人）
<第1回> 5月29日	・ 令和 6 年度赤い羽根共同募金のご報告 ・ 令和 7 年度「共同募金の使いみち」事例集作成にかかるご協力について ・ 福岡市社会福祉協議会第 6 期地域福祉活動計画中間評価について ・ 地域共生社会の実現に向けた障がい者の地域参加について ・ 「五福の家～想いつながる みんなの居場所～」の開所について ・ おいしいごはんをつなぎづくり ～食を通じた居場所づくり・多世代交流モデル事業事例集～について ・ 買い物支援ガイドブックについて	10
<第2回> 11月28日	・ 正・副部会長選任について ・ 福岡100プラザの機能強化について（福祉局高齢福祉課） ・ 令和7年度避難行動要支援者名簿の一部記載誤りについて（市民局地域防災課） ・ 第 7 期地域福祉活動計画の策定について ・ 令和7年度校区社協会長アンケートへのご協力について ・ 個別避難計画作成ワークショップ事業について ・ 令和 7 年度カイゴ・ミライスケッチコンクールについて ・ 福岡市地域保健福祉振興基金事業（ふれあいサロン）助成金報告書様式の一部変更について	9
<第3回> 2月24日	・ 第 7 期地域福祉活動計画の策定について ・ 各種助成事業等について ・ 地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針の改訂について	12

(2) 民生委員児童委員部会

開催日	内容（議題）	参加者 （人）
2月4日	・ 正副部会長の選任について ・ 第 7 期地域福祉活動計画の策定について ・ 地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針の改訂について	7

(3) 施設部会

開催日	内容（議題）	参加者 （人）
12月18日	・施設部会長の選任について ・第7期地域福祉活動計画の策定について ・第65回大都市社会福祉施設協議会（北九州市大会）の報告について ・令和7年度カイゴ・ミライスケッチコンクールの実施について ・「五福の家」の取組みについて	14

(4) 各区運営部会

区	開催日	内容（議題）	参加者 （人）
東	5月	・令和6年度事業報告・決算について（書面開催）	21
	2月6日	・部会長及び副部会長の選任について ・令和8年度事業計画・予算について ・第7期地域福祉活動計画の策定について	18
博多	5月	・令和6年度事業報告・決算について（書面開催）	23
	2月12日	・部会長及び副部会長の選任について ・令和8年度事業計画・予算について ・第7期地域福祉活動計画の策定について	17
中央	5月	・令和6年度事業報告・決算について（書面開催）	14
	2月6日	・部会長及び副部会長の選任について ・令和8年度事業計画・予算について ・第7期地域福祉活動計画の策定について	12
南	5月	・令和6年度事業報告・決算について（書面開催）	19
	2月10日	・部会長及び副部会長の選任について ・令和8年度事業計画・予算について ・第7期地域福祉活動計画の策定について	20
城南	5月	・令和6年度事業報告・決算について（書面開催）	18
	2月5日	・部会長及び副部会長の選任について ・令和8年度事業計画・予算について ・第7期地域福祉活動計画の策定について	13
早良	5月	・令和6年度事業報告・決算について（書面開催）	20
	2月6日	・部会長・副部会長の選任について ・令和8年度事業計画・予算について ・第7期地域福祉活動計画の策定について	17
西	5月	・令和6年度事業報告・決算について（書面開催）	18
	2月5日	・部会長及び副部会長の選任について ・令和8年度事業計画・予算について ・第7期地域福祉活動計画の策定について	15

別表 1 5 寄付つき商品

	企業名	寄付内容	実績
1	翼行政書士・ 社会福祉士事務所 【覚書締結日】 平成26年12月4日	「ずーっとあんしん安らか事業応援隊・翼」 新規相談・依頼1件につき200円寄付	215件 43,000円
2	株式会社QTnet 【覚書締結日】 平成28年5月19日	「社会をよくなる自販機プロジェクト」 自販機売り上げ1本につき10円寄付 ※令和元年10月から、寄付額＝本数×9.26円(税 抜)×1.1	8,780本 89,442円
3	株式会社プラスらいふ パートナーズ 【覚書締結日】 平成28年8月26日	「介護施設の入居・身元保証支援」 身元保証の相談1件につき1,000円	6件 6,000円
4	宗教法人清法山 徳純院 【覚書締結日】 平成30年1月1日	「ずーっとあんしん納骨堂」 福祉関係者より紹介・案内があり、納骨につな がった場合 1件につき1,000円	10件 10,000円
5	株式会社大原キャリア スタッフ九州 【覚書締結日】 平成30年11月19日	「社会をよくなる自販機プロジェクト」 自販機売り上げの2%寄付	1件 5,065円
6	一般社団法人 えにしの会 【覚書締結日】 令和1年8月22日	「あんしん身元保証プロジェクト」 身元保証の契約1件につき2,000円寄付	158件 316,000円
7	株式会社福豊堂 【覚書締結日】 令和5年11月29日	「笑顔の種プロジェクト」 「12種の豆菓子MIX」の売り上げの3%寄付	9,157件 66,550円
8	合同会社 トラベルケアふくおか 【覚書締結日】 令和6年4月22日	福岡市の新しい旅のカタチ 介護付き旅行 介護付き旅行プランの売上1件につき200円	103件 20,600円
合計			556,657円

※平成25年7月の事業開始からの累計 9,359,610円